

Ⅱ 圏域の概要

- 1 連携中枢都市圏の名称
さっぽろ連携中枢都市圏

- 2 構成市町村の名称
札幌市（連携中枢都市）、小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町

※本圏域は、札幌広域圏組合において石狩管内の振興を図ってきた石狩管内の8市町村のほか、札幌市への通勤・通学割合が10%を超える4市町を加えた全12市町村で構成

＜図表Ⅱ－1＞ 構成市町村から札幌市への通勤・通学割合

（単位：人）

（単位：人）

市町村名	A 当地に常住する 就業者・通学者総数	B うち自宅で従業	C 札幌市で 従業・通学	D 札幌市への通 勤・通学割合 C／（A－B）
札幌市	—	—	—	—
小樽市	47,974	3,464	6,708	15.1%
岩見沢市	36,471	3,988	3,078	9.5%
江別市	59,420	3,782	21,448	38.5%
千歳市	51,001	2,563	2,984	6.2%
恵庭市	35,650	2,026	4,981	14.8%
北広島市	27,685	1,539	10,510	40.2%
石狩市	24,824	2,163	10,672	47.1%
当別町	8,606	1,369	2,596	35.9%
新篠津村	1,639	645	64	6.4%
南幌町	3,924	622	635	19.2%
長沼町	5,673	1,711	399	10.1%

出典：「令和2年国勢調査」（総務省）

3 圏域の概況

(1) 地勢

本圏域は、道央圏に位置し、面積約4,515㎢を有しています。圏域内には、全国3位の長さを誇る石狩川や、豊平川、千歳川といった多くの河川が流れているほか、天然記念物として指定を受けている円山原始林や藻岩原始林、支笏洞爺国立公園があるなど、豊かな自然環境が広がっています。また、夏は爽やかで過ごしやすく、冬は積雪寒冷であり、鮮明な四季の移り変わりを感じることができます。

<図表Ⅱ－2> 圏域図



(2) 構成市町村の概況



札幌市

Sapporo City



大通公園

概 況	
人口（2020年）	1,973,395人
面積（2020年）	1,121.26 km ²
まちの概要	
人口190万人超を有する、都市と自然が調和した北海道の政治・経済・文化の中心地。国際的に有名な「さっぽろ雪まつり」などの観光イベントも豊富で、国内外から多くの人々が訪れます。	
まちのPR	
【特産品】 ビール、ラーメン、スープカレー、スイーツ	
【みどころ】 札幌ドーム、札幌コンサートホール Kitara、クラーク像、札幌文化芸術劇場 hitaru、モエレ沼公園、さっぽろテレビ塔	
【主な農産物】 たまねぎ、こまつな、ほうれん草	



小樽市

Otaru City



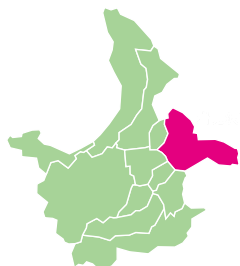
小樽運河

概 況	
人口（2020年）	111,299人
面積（2020年）	243.83 km ²
まちの概要	
港を中心に北海道の拠点都市として発展し、運河や石造倉庫などの景観と伝統を活かした個性豊かなまちづくりをすすめています。札幌市に次ぐ観光入込客数を誇る全国有数の観光都市です。	
まちのPR	
【特産品】 水産加工品、ガラス工芸品、お寿司、地ビール、ワイン、スイーツ	
【みどころ】 小樽運河、小樽芸術村、北一ヴェネツィア美術館、おたる水族館、小樽天狗山	
【主な農産物】 トマト、馬鈴薯、かぼちゃ	



岩見沢市

Iwamizawa City



いわみざわ公園と田園風景

概 況

人 口（2020 年） 79,306 人

面 積（2020 年） 481.02 km²

まちの概要

明治の中期ごろから相次いで道路や鉄道が開通し、交通の要衝に。その後人口は急速に増え、空知の行政・産業・教育の中心として発展、2006 年には、北村、栗沢町と合併し、米の収穫量と作付面積が全道一となりました。

まちの PR

【特産品】

ワイン、米「ななつぼし」、キタノカオリ小麦のパン、こぶ志焼

【みどころ】

北海道グリーンランド、ログホテルメーブルロッジ

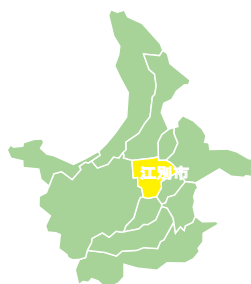
【主な農産物】

米、たまねぎ、白菜



江 別 市

Ebetsu City



江別市セラミックアートセンター

概 況

人 口（2020 年） 121,056 人

面 積（2020 年） 187.38 km²

まちの概要

札幌市に隣接し、世界有数の平地林である「道立自然公園野幌森林公園」や一級河川「石狩川」をはじめとする雄大な自然を兼ね備えた、都市と自然が調和する街。近年は、子育て支援や食と農の魅力発信のほか、「健康都市」として市民の健康づくり推進に力を入れています。

まちの PR

【特産品】

れんが、陶芸品、小麦「ハルユタカ」、えべつ小麦めん

【みどころ】

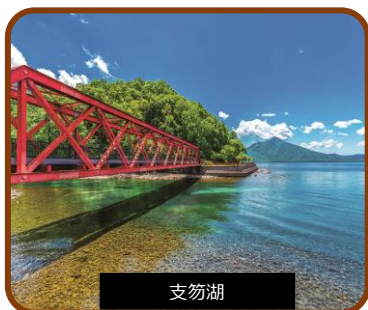
江別市セラミックアートセンター、E B R I（エブリ）、野幌森林公園

【主な農産物】

小麦、ブロッコリー、レタス、乳用牛、米

千歳市

Chitose City

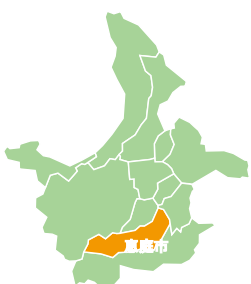


支笏湖

概 況	
人 口（2020 年）	97,950 人
面 積（2020 年）	594.5 km ²
まちの概要	
支笏洞爺国立公園をはじめとする雄大な自然環境に囲まれている千歳市。北海道の空の玄関口「新千歳空港」を核とし、「陸・海・空」の抜群のアクセスにより、道内の観光拠点となっています。自衛隊が市街地の三方を取り囲むよう配置されているほか、11 か所の工業団地には多くの企業が立地しています。	
まちの PR	
【特産品】 ハスカップ製品、支笏湖チップ（ヒメマス）、千歳駒そば 【みどころ】 新千歳空港、支笏湖、道の駅サーモンパーク千歳、サケのふるさと千歳水族館 【主な農産物】 鶏卵、小麦、小豆、ブロッコリー	

恵庭市

Eniwa City



花の拠点（はなふる）

概 況	
人 口（2020 年）	70,331 人
面 積（2020 年）	294.65 km ²
まちの概要	
地名である「恵まれた庭」をキーワードに、「花・水・緑に囲まれた読書のまち」として、多くの市民が「住みやすい」と評価する質の高い住環境、食料品製造業等が多く立地する職機能、民間投資により可能性が広がる観光機能など、職・住が近接するガーデンシティ（田園都市）です。	
まちの PR	
【特産品】 えびすかぼちゃ、花苗、小麦「ゆめちから」 【みどころ】 恵庭溪谷、花の拠点（はなふる）、ルルマツプ自然公園ふれらんど、えこりん村、サッポロビール庭園 【主な農産物】 米、小麦、花き、乳用牛	



北広島市

Kitahiroshima City



概 況	
人口（2020年）	58,171人
面積（2020年）	119.05 km ²
まちの概要	
札幌市の南東に隣接し、クラーク博士が、「Boys, be ambitious（青年よ、大志を懷け）」の名言を残したゆかりの地です。寒地稲作を成功させた先人のフロンティア精神を受け継ぎ、「希望都市」「交流都市」「成長都市」をテーマに、「自然と創造の調和した豊かな都市」を目指しています。	
まちのPR	
【特産品】 まるひろ大根、いちご、手作りハム・ソーセージ、焼酎	
【みどころ】 クラーク博士記念碑、国指定史跡旧島松駅通所、知新の駅、北海道ボールパークFビレッジ	
【主な農産物】 米、レタス、ブロッコリー、馬鈴薯、大根、ミニトマト、乳用牛、花き	



石狩市

Ishikari City



概 況	
人口（2020年）	56,869人
面積（2020年）	722.33 km ²
まちの概要	
国際貿易港である石狩湾新港と背後の工業団地とともに発展してきた都市。2005年に厚田・浜益と合併し、雄大な自然景観や豊富な農水産資源を活かした観光政策等、新たなまちづくりを進めています。	
まちのPR	
【特産品】 海産物、寒塩引、望来豚	
【みどころ】 道の駅石狩「あいろうど厚田」、はまます郷土資料館、増毛山道・濃昼山道	
【主な農産物】 米、小麦、ブロッコリー	



当別町

Tobetsu Town



北欧の夏を代表するお祭り「夏至祭」

概況

人口（2020年） 15,916人

面積（2020年） 422.86 km²

まちの概要

豊かな田園風景と自然環境の中でゆったりとした田舎暮らしが可能でありながら都市機能も有しているまちです。基幹産業である農業の振興のほか、再生可能エネルギーや国際交流、企業誘致にも力を入れています。

まちのPR

【特産品】

SPF豚、亜麻商品、いもだんご汁、チョコレート

【みどころ】

北欧の風道の駅とうべつ、当別ダム、ロイズカカオ&チョコレートタウン

【主な農産物】

米、小麦、花き、大豆、かぼちゃ、とうもろこし



新篠津村

Shinshinotsu Village



新篠津村中心部と石狩川

概況

人口（2020年） 3,044人

面積（2020年） 78.04 km²

まちの概要

石狩川右岸の石狩平野の西部に位置し、道内有数の「米の村」として有名。夢を創造するヒューマンカントリー「ふれあいの里」をスローガンに都市近郊を活かした村づくりを進めています。

まちのPR

【特産品】

純米酒、どぶろく、こめサイダー、有機ほし甘いも

【みどころ】

しのつ湖、しのつ公園、しんしのつ温泉、しんしのつ天文台

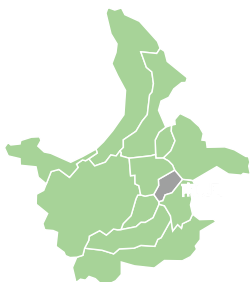
【主な農産物】

米、小麦、大豆、ブロッコリー



南 幌 町

Nanporo Town



子ども室内遊戯施設はれっぱ

概 況

人 口（2020 年） 7,319 人

面 積（2020 年） 81.36 km²

まちの概要

石狩平野の中央に位置する田園都市。緑豊かで爽やかな風が心地よく、居住環境に恵まれており、公園施設なども充実しています。

まちの PR

【特産品】

ピュアホワイト（とうもろこし）、ジンギスカン、ブルーベリーワイン、南幌彗星、三升漬、キャベツキムチ

【みどころ】

子ども室内遊戯施設はれっぱ、南幌リバーサイド公園、なんぼろ温泉ハート&ハート

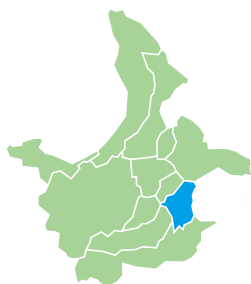
【主な農産物】

米、キャベツ、ねぎ



長 沼 町

Naganuma Town



道の駅マオイの丘公園

概 況

人 口（2020 年） 10,289 人

面 積（2020 年） 168.52 km²

まちの概要

道都札幌に近接する「ひとと自然の共生 きらめく田園と交流のまち」。ながぬまコミュニティ公園や道の駅マオイの丘公園など、美しい農村風景を活かした観光施設も好評です。

まちの PR

【特産品】

ジンギスカン、どぶろく、ワイン、豆腐（長沼産大豆使用）

【みどころ】

文学碑、東庭園、ハイジ牧場、ながぬま温泉、マオイオートランド、農産物直売所、道の駅マオイの丘公園

【主な農産物】

米、小麦、大豆、たまねぎ、白菜、ブロッコリー

(3) 人口

圏域の人口は、これまで増加を続け、2020年には約260万人を有する規模でしたが、2023年には約259万人となっており、人口減少が始まっていることが分かります。「国立社会保障・人口問題研究所」が2018年3月に公表した「日本人の地域別将来推計人口」に基づく推計によると、圏域人口は2040年に約235万人、2060年は約206万人になるとされています。

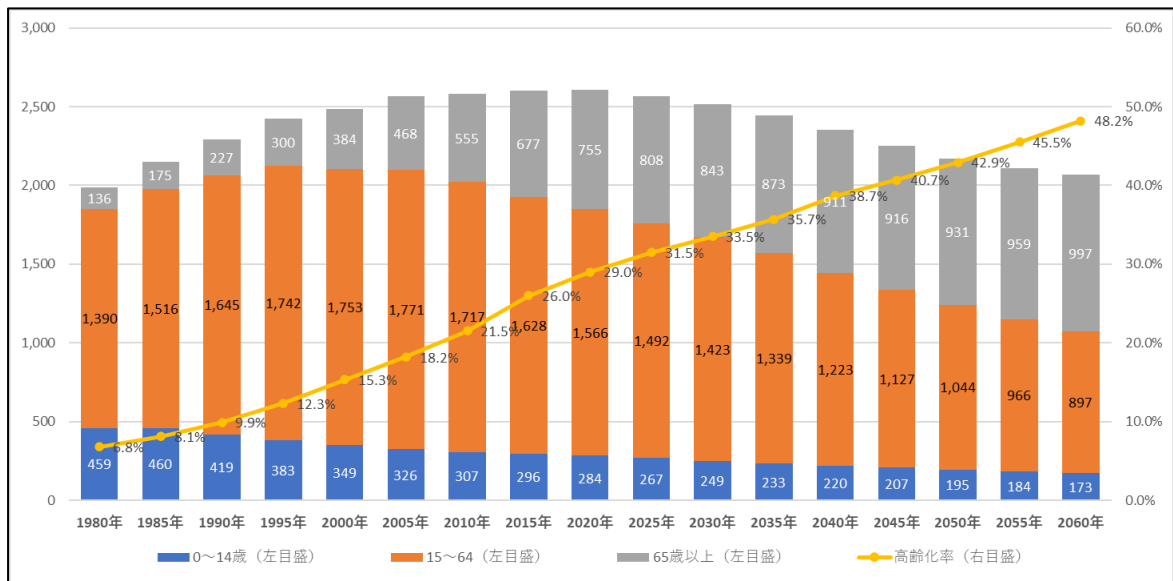
また、2020年時点において高齢化率は約29%となっており、高齢者は今後も増加する一方、年少人口と生産年齢人口は減少し続け、高齢化率は2040年には約39%、2060年には約48%になるものと推計されます（図表Ⅱ－3、4）。

圏域の転出入数を年齢別にみると、道外との関係では、20歳代は転出超過となっていますが、30歳～44歳は転入超過となっています（図表Ⅱ－5）。

自然増減・社会増減の推移をみると、自然増減は、減少幅が年々拡大し、2022年では約18千人の減少となりました。一方、社会増減は、増加幅の拡大・縮小を繰り返しており、2020年以降は自然減が社会増を上回っています（図表Ⅱ－6）。

＜図表Ⅱ－3＞人口推移と高齢化率

（単位：左目盛り 千人、右目盛り 構成比）



出典：「国勢調査」（総務省）、「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月公表）」（国立社会保障・人口問題研究所）

注 2020年までは国勢調査の実績値、2025年以降は推計値。

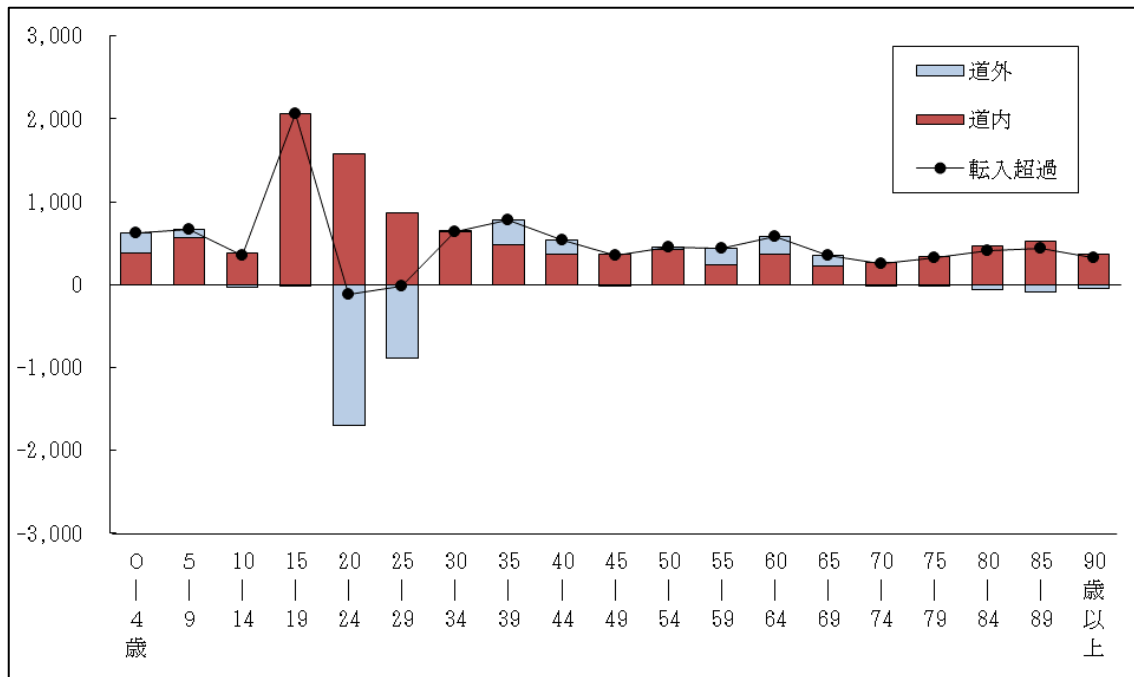
<図表Ⅱ－４> 市町村別の人口推移

	1980年	1990年	2000年	2010年	2020年 (直近値)	2030年	2040年	2050年	2060年
札幌市	1,401,757	1,671,742	1,822,368	1,913,545	1,973,395	1,959,483	1,870,991	1,752,974	1,688,023
小樽市	180,728	163,211	150,687	131,928	111,299	89,561	69,422	53,270	43,050
岩見沢市	93,340	93,312	96,302	90,145	79,306	66,101	53,640	42,639	35,448
江別市	86,349	97,201	123,877	123,722	121,056	106,082	92,706	81,608	75,317
千歳市	66,788	78,946	88,897	93,604	97,950	95,985	92,345	87,578	85,245
恵庭市	42,911	55,615	65,239	69,384	70,331	67,129	63,003	58,195	55,334
北広島市	34,148	47,758	57,731	60,353	58,171	52,264	46,222	40,261	36,680
石狩市	40,783	53,143	59,734	59,449	56,869	48,785	41,384	34,956	32,105
当別町	17,316	15,825	20,778	18,766	15,916	12,736	10,007	7,661	6,293
新篠津村	4,144	3,811	3,940	3,515	3,044	2,563	2,076	1,668	1,438
南幌町	5,444	5,665	9,792	8,778	7,319	5,854	4,559	3,457	3,017
長沼町	13,354	12,282	12,452	11,691	10,289	8,946	7,419	6,036	5,236
圏域合計	1,987,062	2,298,511	2,511,797	2,584,880	2,604,945	2,515,489	2,353,774	2,170,302	2,067,186

出典：「国勢調査」（総務省）、「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月公表）」（国立社会保障・人口問題研究所）

<図表Ⅱ－５> 圏域の転出入の状況

(単位：人)

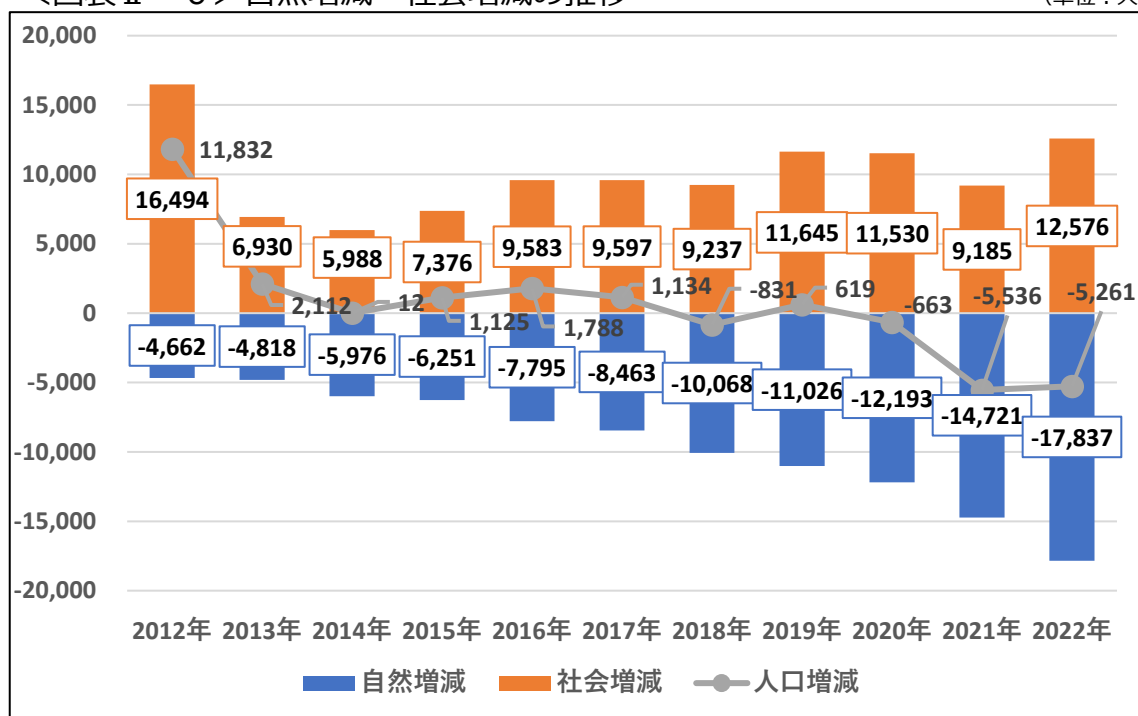


出典：「住民基本台帳人口移動報告 令和4年（2022年）結果」（総務省）

注 日本人のみの数値であり、圏域内の移動を除く。年齢「不詳」を除く。

＜図表Ⅱ－６＞自然増減・社会増減の推移

(単位：人)



出典：「住民基本台帳人口移動報告」（総務省）

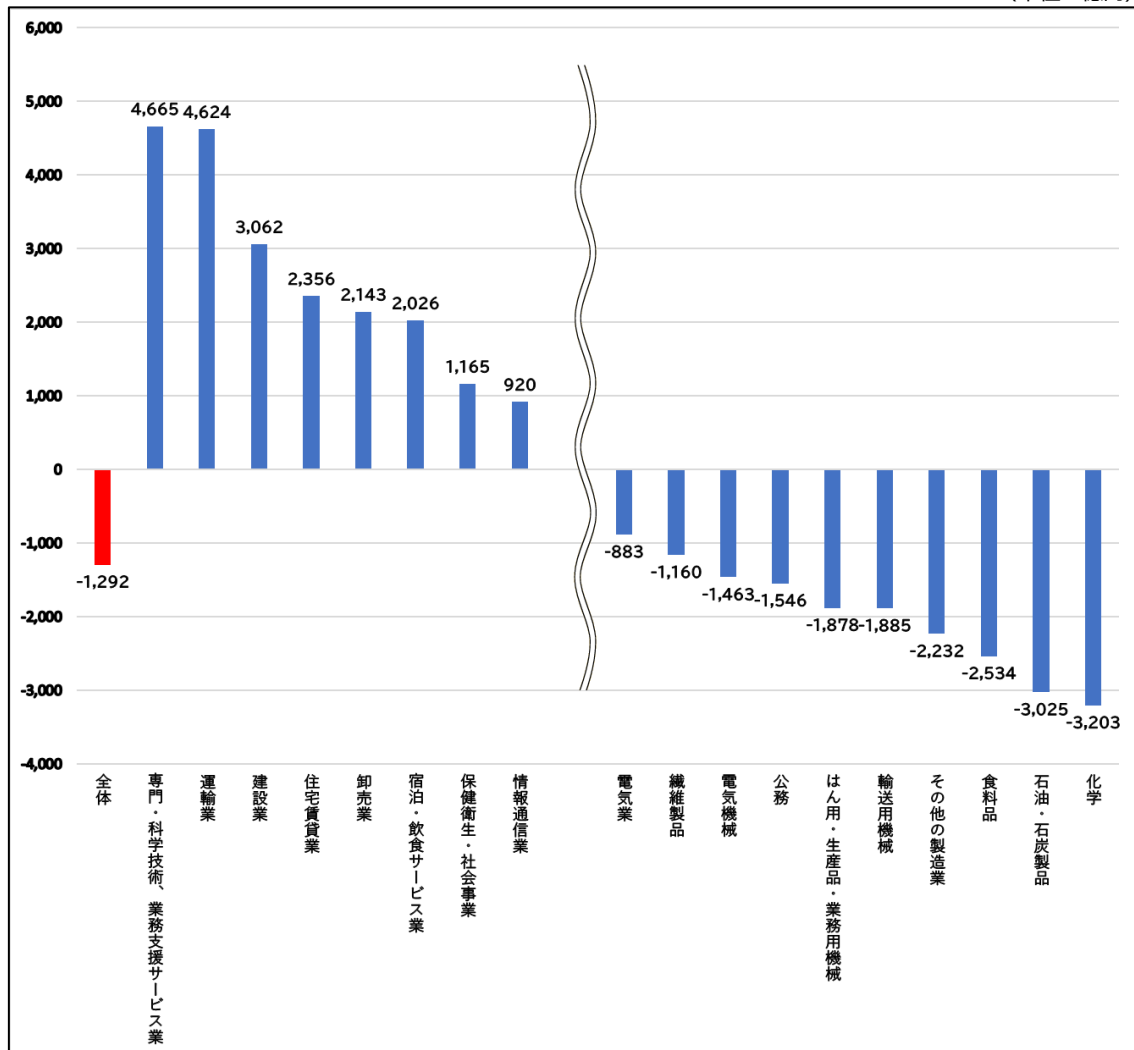
(4) 産業構造

2018 年における圏域外収支は、全体として約 1,300 億円のマイナスとなっています（図表Ⅱ－７）。

圏域内民営事業所売上（収入）金額は、約 29 兆円であり、北海道内の約 57%を占めています（図表Ⅱ－８）。また、全国と比較すると全体に占める「製造業」の売上構成比が小さく、「卸売業、小売業」、「建設業」、「医療、福祉」の売上構成比が大きくなっています（図表Ⅱ－９）。

<図表Ⅱ－７> 圏域外収支

(単位：億円)



出典：地域経済分析システム RESAS (2018 年)

＜図表Ⅱ－８＞ 圏域内民営事業所売上（収入）金額（注１） （単位：億円）

	第1次産業		第2次産業		第3次産業		総数	
	売上	構成比	売上	構成比	売上	構成比	売上	構成比
札幌市	141	21.2%	29,874	69.2%	216,847	88.4%	246,862	85.3%
小樽市	15	2.3%	2,325	5.4%	6,059	2.5%	8,400	2.9%
岩見沢市	84	12.6%	1,463	3.4%	3,848	1.6%	5,395	1.9%
江別市	42	6.3%	1,362	3.2%	3,423	1.4%	4,827	1.7%
千歳市	130	19.5%	2,913	6.7%	4,099	1.7%	7,142	2.5%
恵庭市	30	4.5%	1,858	4.3%	2,285	0.9%	4,173	1.4%
北広島市	38	5.7%	1,206	2.8%	3,952	1.6%	5,197	1.8%
石狩市	38	5.7%	1,854	4.3%	3,719	1.5%	5,611	1.9%
当別町	42	6.2%	118	0.3%	529	0.2%	992	0.3%
新篠津村	12	1.8%	26	0.1%	76	0.0%	113	0.0%
南幌町	24	3.6%	116	0.3%	168	0.1%	307	0.1%
長沼町	70	10.5%	61	0.1%	300	0.1%	482	0.2%
圏域計	667	100.0%	43,177	100.0%	245,306	100.0%	289,503	100.0%
北海道 （注2）	8,542	7.8%	108,786	39.7%	391,353	62.7%	508,681	56.9%

出典：「令和３年経済センサス-活動調査」（総務省）

（注１） 外国の会社及び法人でない団体を除いた試算値である。

個人経営の事業所等を除く。

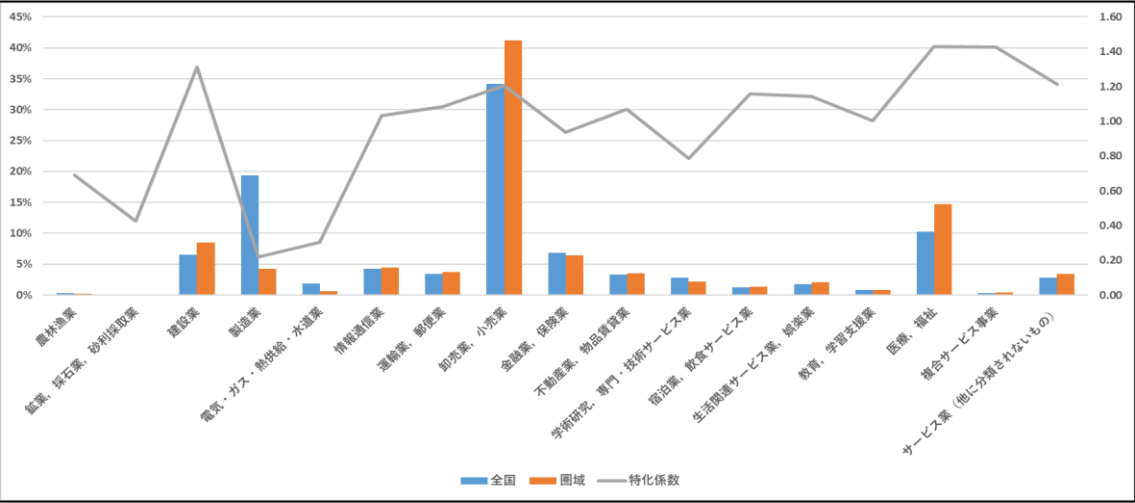
第２次産業と第３次産業は、秘匿の産業を除いて算出。

端数処理の関係上、内訳と合計は一致しないものがある。

（注２） 「北海道」の構成比は、「圏域計」の「北海道」に占める割合を示す。

＜図表Ⅱ－９＞ 民営事業所産業別売上構成比の比較

（（単位：左目盛り 構成比、右目盛り 特化係数（注１））



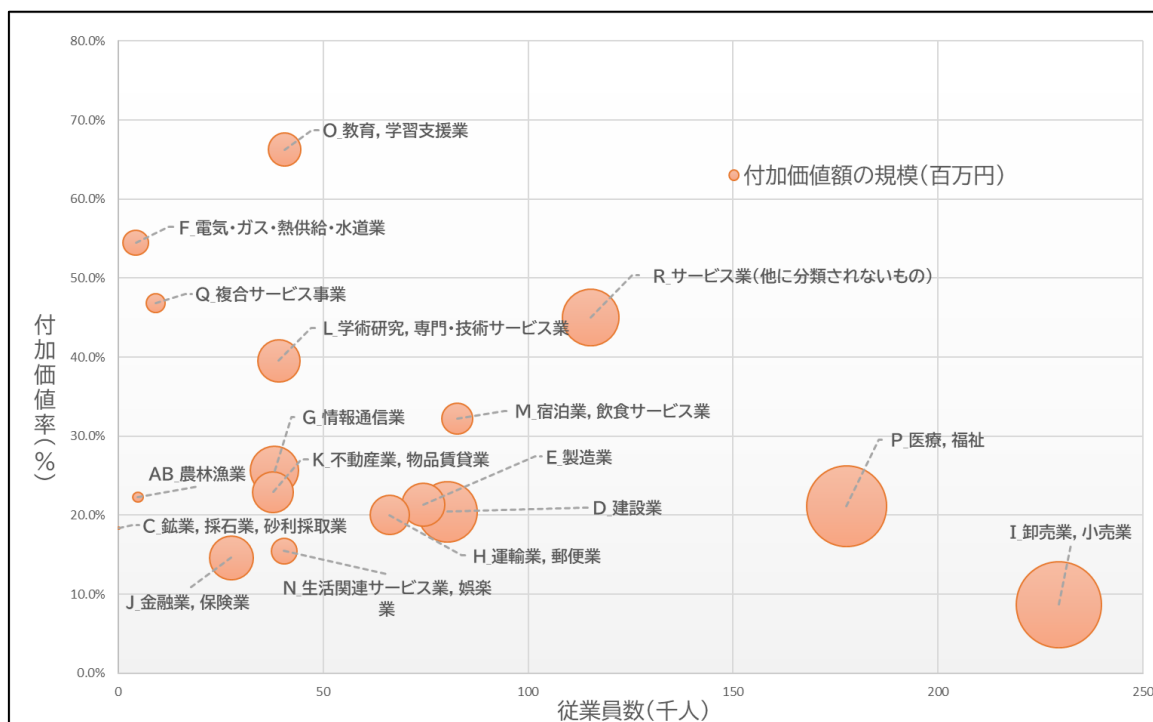
出典：「令和３年経済センサス-活動調査」（総務省）

（注１） 圏域の産業別売上構成比を全国の産業別売上構成比で除したものの、1より大きい産業は、全国と比べてその産業が高い水準にあることを示す。

従業者数及び付加価値額の相関関係については、「卸売業、小売業」及び「医療、福祉」は、従業員数が多く売上額も大きいですが、付加価値率が低くなっています（図表Ⅱ－10）。

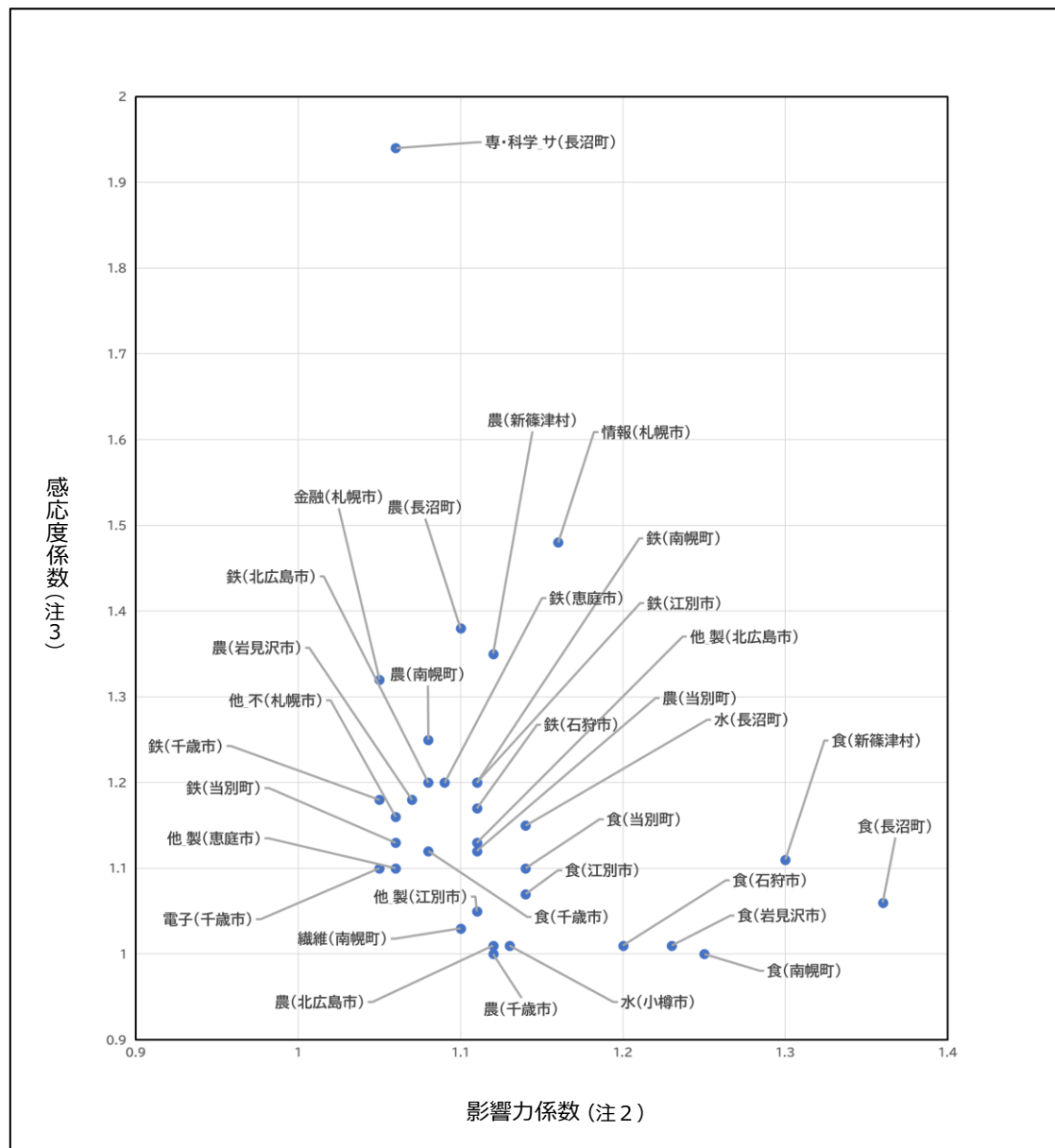
圏域の多くの市町村で「食料品製造業」の影響力係数が高く、「食料品製造業」への新たな需要が産業全体に与える生産波及の影響が強くなっています。また、多くの市町村で「農業」の感応度係数が高く、産業全体の需要が増えた場合に「農業」が強い影響を受けることになります（図表Ⅱ－11）。

<図表Ⅱ－10> 従業者数及び付加価値額の相関図



出典：「令和3年経済センサス-活動調査」（総務省）

＜図表Ⅱ－11＞ 影響力係数と感応度係数の相関図（注1）



出典：地域経済分析システム RESAS （2018 年）

- （注1） 影響力係数が 1.1 以上・感応度係数が 1.0 以上の産業（抜粋）
（注2） ある産業に対する需要が全産業に与える影響の度合いを示す係数で、大きいほど他産業に対する影響力が大きい。
（注3） 全産業に対する新たな需要による特定の産業の感応度を示す係数で、大きいほど他産業による感応度が大きい。

【凡例】

農業	農	電子部品・デバイス・電子回路製造業	電子
食料品製造業	食	輸送用機械器具製造業	輸送_機
繊維工業	繊維	その他製造業	他_製
パルプ・紙・紙加工製品製造業	パ	水道業	水
化学工業	化	情報通信業	情報
石油製品・石炭製品製造業	石油	金融業・保険業	金融
鉄鋼業	鉄	その他不動産業	他_不
非鉄金属製造業	非鉄	学術研究、専門・技術サービス業	専・科学_サ
金属製品製造業	金属		

※ 総務省「日本標準産業分類」による整理

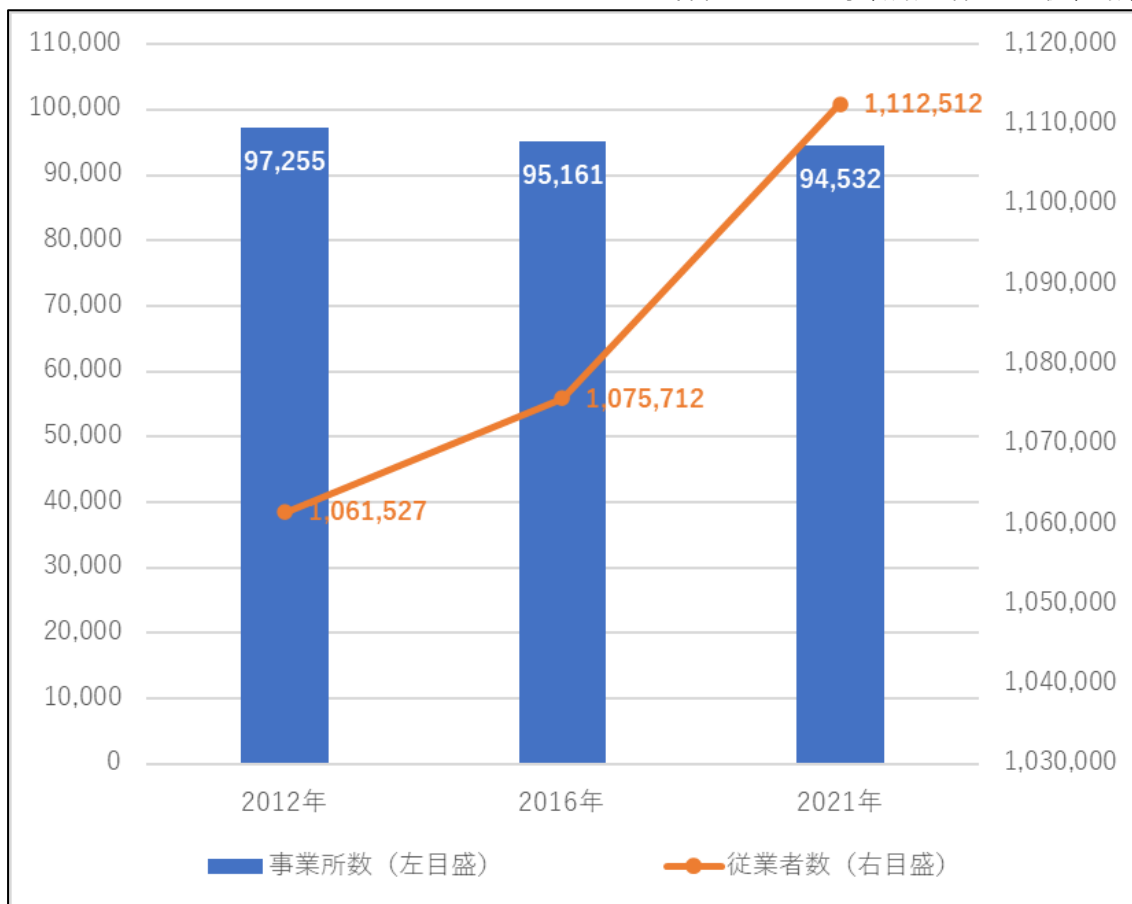
圏域内民営事業所は、約 9 万 5 千であり、減少傾向にあります。一方、圏域内従業者数は、約 111 万人であり、増加傾向にあります（図表Ⅱ－12）。

個人経営の事業所を除く圏域内民営事業所数は、約 7 万 3 千であり、北海道内の約 47%を占め、圏域内民営従業者数は、約 106 万人であり、北海道内の約 52%を占めています。（図表Ⅱ－13、14）

市町村別の就業者割合においては、全市町村で「事務」が高いほか、「当別町」、「新篠津村」、「南幌町」、「長沼町」では「農林漁業」も高くなっています（図表Ⅱ－15）。

<図表Ⅱ－12> 事業所数・従業者数の推移

（単位：左目盛り 事業所数 右目盛り 従業者数）



出典：「令和 3 年経済センサス-活動調査」（総務省）

＜図表Ⅱ－13＞圏域内民営事業所数（注１）

	第１次産業		第２次産業		第３次産業		総数	
	事業所	構成比	事業所	構成比	事業所	構成比	事業所	構成比
札幌市	101	19.3%	8,768	73.6%	48,072	79.3%	56,941	77.9%
小樽市	13	2.5%	638	5.4%	2,984	4.9%	3,635	5.0%
岩見沢市	115	21.9%	343	2.9%	1,692	2.8%	2,150	2.9%
江別市	43	8.25%	477	4.0%	1,721	2.8%	2,241	3.1%
千歳市	44	8.4%	378	3.2%	1,986	3.3%	2,408	3.3%
恵庭市	23	4.4%	267	2.2%	1,042	1.7%	1,332	1.8%
北広島市	19	3.6%	299	2.5%	1,233	2.0%	1,551	2.1%
石狩市	30	5.7%	530	4.5%	1,226	2.0%	1,786	2.4%
当別町	46	8.8%	75	0.6%	273	0.5%	394	0.5%
新篠津村	25	4.8%	13	0.1%	55	0.1%	93	0.1%
南幌町	18	3.4%	56	0.5%	117	0.2%	191	0.3%
長沼町	47	9.0%	63	0.5%	251	0.4%	361	0.5%
圏域計	524	100%	11,907	100%	60,652	100%	73,083	100%
北海道 （注２）	5,122	10.2%	27,232	43.7%	123,487	49.1%	155,841	46.9%

出典：「令和３年経済センサス-活動調査」（総務省）

（注１）個人経営の事業所等を除く。端数処理の関係上、内訳と合計は一致しないものがある。

（注２）「北海道」の構成比は、「圏域計」の「北海道」に占める割合を示す。

＜図表Ⅱ－14＞圏域内民営従業者数（注１）

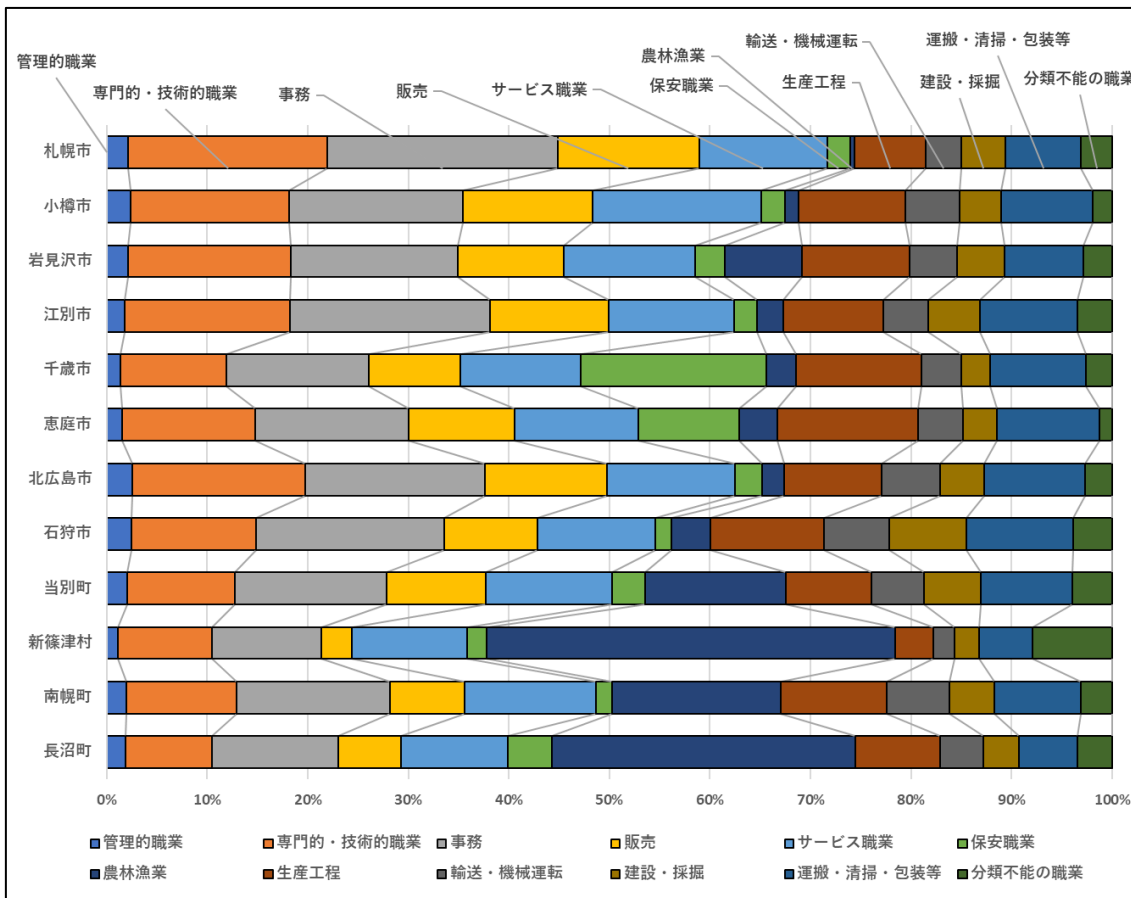
	第１次産業		第２次産業		第３次産業		総数	
	従業者	構成比	従業者	構成比	従業者	構成比	従業者	構成比
札幌市	920	18.4%	100,663	65.9%	731,824	81.2%	833,407	78.7%
小樽市	144	2.9%	10,053	6.6%	34,009	3.8%	44,206	4.2%
岩見沢市	852	17.0%	5,317	3.5%	20,286	2.2%	26,455	2.5%
江別市	510	10.2%	6,189	4.0%	24,492	2.7%	31,191	2.9%
千歳市	735	14.7%	9,716	6.4%	29,876	3.3%	40,327	3.8%
恵庭市	411	8.2%	6,309	4.1%	15,154	1.7%	21,874	2.1%
北広島市	162	3.2%	4,599	3.0%	18,029	2.0%	22,790	2.2%
石狩市	266	5.3%	7,090	4.6%	19,628	2.2%	26,984	2.5%
当別町	287	5.7%	1,485	1.0%	3,830	0.4%	5,602	0.5%
新篠津村	133	2.7%	177	0.1%	594	0.1%	904	0.1%
南幌町	209	4.2%	706	0.5%	1,364	0.2%	2,279	0.2%
長沼町	371	7.4%	561	0.4%	2,681	0.3%	3,613	0.3%
圏域計	5,000	100%	152,865	100%	901,767	100%	1,059,632	100%
北海道 （注２）	46,750	10.7%	361,759	42.3%	1,614,039	55.9%	2,022,548	52.4%

出典：「令和３年経済センサス-活動調査」（総務省）

（注１）個人経営の事業所等を除く。端数処理の関係上、内訳と合計は一致しないものがある。

（注２）「北海道」の構成比は、「圏域計」の「北海道」に占める割合を示す。

<図表Ⅱ－15> 市町村における職種別就業者割合

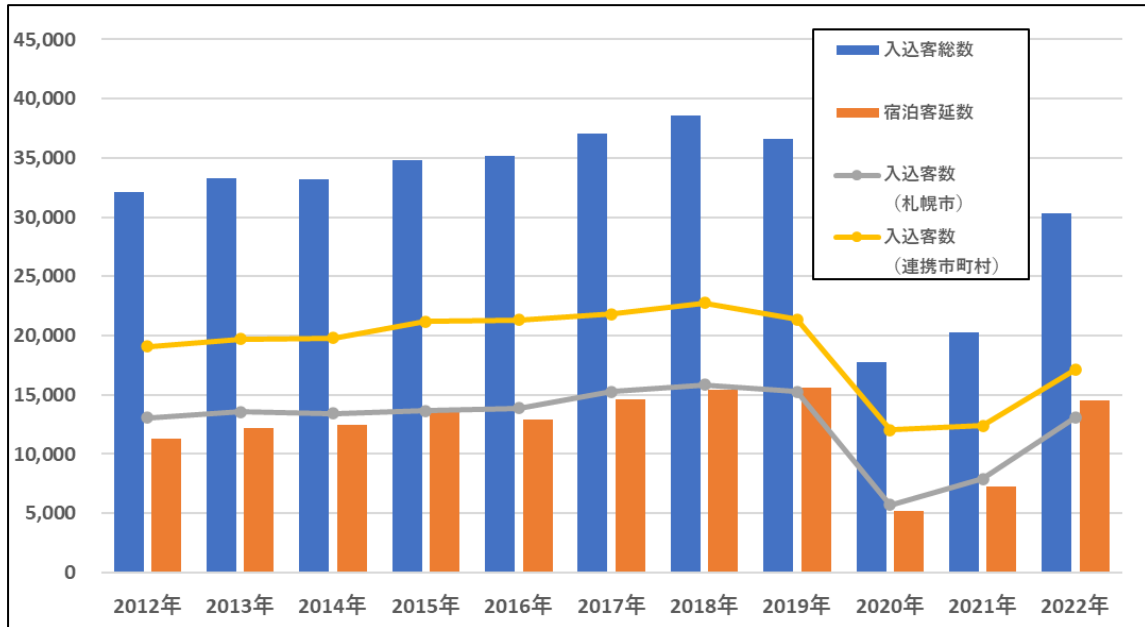


出典：「令和2年国勢調査」（総務省）

観光入込客数及び外国人宿泊客延数は、2012年度以降、増加傾向にありましたが、新型コロナウイルスの影響を受け、大きく落ち込みました。なお、2022年度は回復傾向にあります（図表Ⅱ－16、17）。

＜図表Ⅱ－16＞ 観光入込客数等の推移

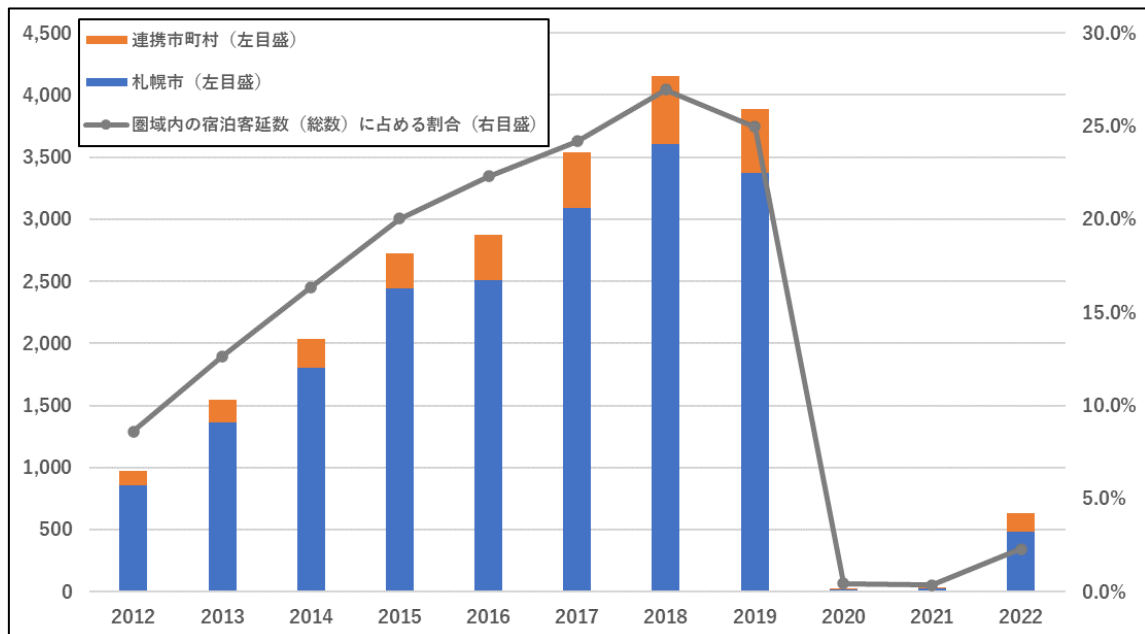
（単位：千人）



出典：「北海道観光入込客数調査報告書」（北海道）

＜図表Ⅱ－17＞ 外国人宿泊客延数の推移

（単位：左目盛り 千人、右目盛り 構成比）



出典：「北海道観光入込客数調査報告書」（北海道）

<図表Ⅱ－18> 主な観光地・施設

市町村名	施設名
札幌市	さっぽろ羊ヶ丘展望台、札幌市時計台、北海道大学、さっぽろテレビ塔、北海道庁旧本庁舎、北海道大学北方生物園フィールド科学センター植物園、北海道神宮、サッポロピリカコタン、北海道開拓の村、モエレ沼公園、大通公園、中島公園、国営滝のすずらん丘陵公園・スノーワールド、円山動物園、藻岩山・札幌もいわ山ロープウェイ、フッススノーエリア、サッポロテイネ、札幌国際スキー場、ばんけいの森 さっぽろばんけいスキー場、札幌藻岩山スキー場、大倉山展望台、札幌オリンピックミュージアム、さとらんど
小樽市	小樽運河、小樽市総合博物館、小樽市公会堂、旧岡崎家能舞台（小樽市公会堂内）、旧国鉄手宮線、小樽市鯉御殿（青山別邸、茨木家中出張番屋含む）、旧日本郵船株式会社小樽支店、手宮洞窟保存館、おたる水族館、小樽天狗山（小樽天狗山ロープウェイ・スキー場含む）、日本銀行旧小樽支店金融資料館、旧三井銀行小樽支店、朝里川温泉郷（朝里川温泉スキー場含む）、春香山（スノークルーズオーンズスキー場含む）、塩谷丸山
岩見沢市	北海道グリーンランド、ログホテルメープルロッジ、北村温泉ホテル、大地のテラス、そらち炭鉱（ヤマ）の記憶マネジメントセンター、岩見沢郷土科学館、絵画ホール・松島正幸記念館、岩見沢レールセンター、万字炭山森林公園、利根別自然公園・原生林、玉泉館跡地公園、あやめ公園、いわみざわ公園バラ園、旧万字線朝日駅、萩の山市民スキー場、北海道グリーンランドホワイトパークスキー場、あそびの広場
江別市	江別市ガラス工芸館、江別市郷土資料館、江別市セラミックアートセンター、江別市屯田資料館、江別市旧町村農場（改修工事中、R6春見学再開予定）、自然ふれあい交流館、北海道立埋蔵文化財センター、ノハナショウブ群生地、美原大橋、EBRI（エブリ）、アースドリーム角山農場、江別河川防災ステーション、北海道立自然公園野幌森林公園、北海道林木育種場旧庁舎
千歳市	支笏洞爺国立公園支笏湖、山線鉄橋、美笛の滝、オコタンペ湖、野鳥の森、樽前山、風不死岳、恵庭岳、紋別岳、名水ふれあい公園、青葉公園、サケのふるさと千歳水族館、キウス周提墓群、道の駅 サーモンパーク千歳
恵庭市	漁川ダム、白扇の滝、ラルマナイの滝、三段の滝、えにわ湖自由広場、桜公園、ルルマップ自然公園ふれらんど、緑のふるさと森林公園、サッポロビール北海道工場、えこりん村、花の拠点（はなふる）、道と川の駅 花ロードえにわ
北広島市	クラーク博士記念碑、開拓記念公園、国指定史跡旧島松駅通所、寒地稲作発祥の碑、平和の灯公園、くるるの杜、ダイナスティスキー場、北海道ボールパークFビレッジ
石狩市	恋人の聖地/厚田展望台、浜益ふるさと公園、毘砂別展望台、白銀の滝、千本ナラ、弁天歴史公園、石狩弁天社、石狩尚古社、いしかり砂丘の風資料館、史跡荘内藩ハママシケ陣屋跡、イチイの木、黄金山、増毛山道、濃昼山道、はまなすの丘公園、石狩灯台、石狩浜海浜植物保護センター、海水浴場、道の駅石狩 あいろーど厚田
当別町	本庄陸男生誕の地碑、「石狩川」文学碑、伊達記念館・伊達邸別館、スウェーデン交流センター、当別ダム、見晴らしの水松、開拓記念樹、レクサンド記念公園、道民の森、ロイズタウン工場直売所、ロイズカカオ&チョコレートタウン、北欧の風道の駅とうべつ
新篠津村	しのつ湖、しのつ公園、しんしのつ温泉たっぷの湯、しんしのつ天文台、ふれあい公園星座観測場、新篠津グライダー滑空場、道の駅 しんしのつ
南幌町	南幌リバーサイド公園、なんぼろ温泉ハート&ハート、子ども室内遊戯施設はれっぱ
長沼町	文学碑、東庭園、ハイジ牧場、ながぬま温泉、マオイオートランド、道の駅 マオイの丘公園

出典：各市町村ホームページ、各市町村観光協会ホームページ等、北海道の道の駅に関する公式総合情報サイト「北の道の駅」

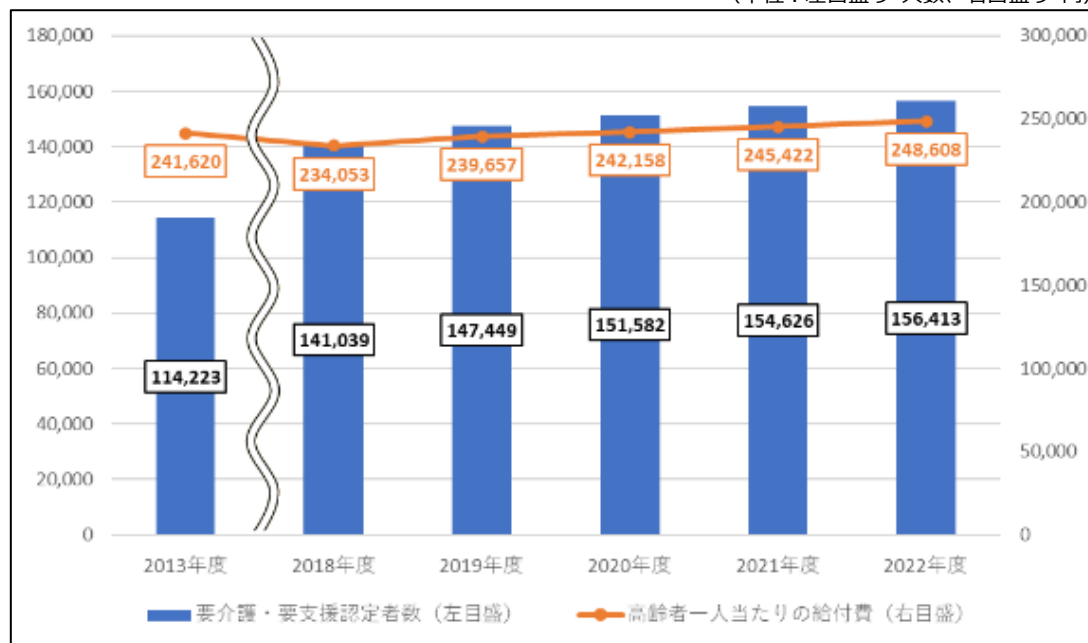
(5) 介護・医療

要介護・要支援認定者数は増加しており、介護需要が高まっています。

一方で、生産年齢人口は減少する推計となっていることから、医療介護人材の需給ギャップが拡大することが懸念されます。(図表Ⅱ－19)
また、圏域内の救急出動件数は、年々増加傾向となっており、今後高齢化の進展により、さらに増加が見込まれます(図表Ⅱ－20)。

<図表Ⅱ－19> 介護需要

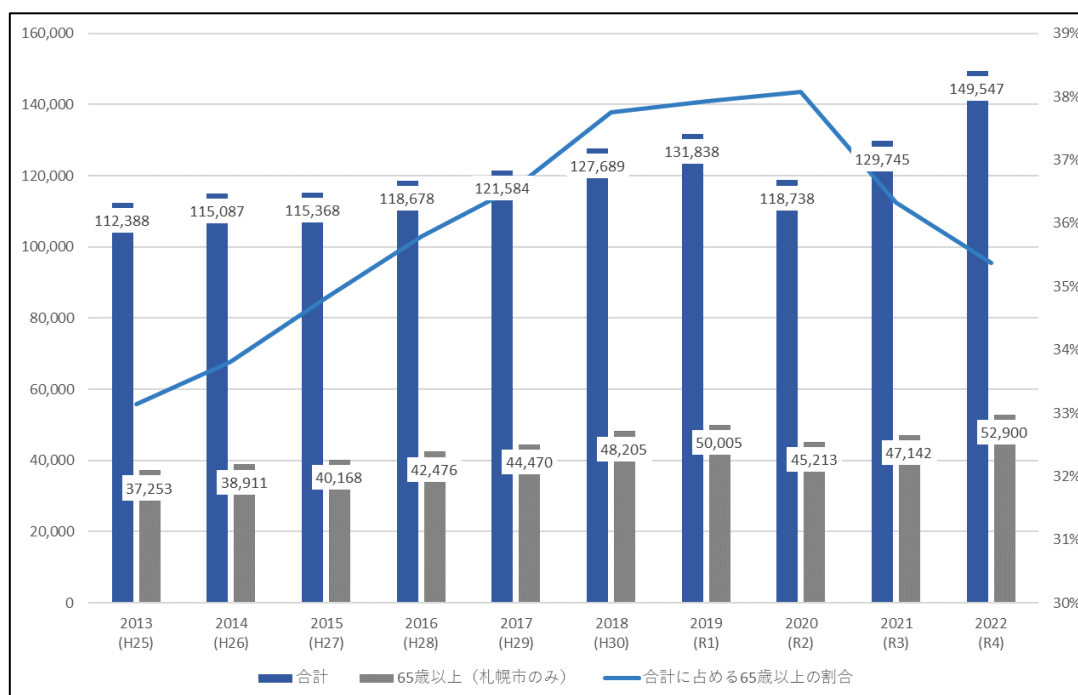
(単位：左目盛り 人数、右目盛り 円)



出典：「介護保険事業状況報告」(厚生労働省)

<図表Ⅱ－20> 救急出動件数の推移

(単位：左目盛り 件数、右目盛り 割合)



※2020～2022年の出動件数は、新型コロナウイルス感染症の移送業務を含む

出典：「消防現勢」(全国消防長会)

(6) 高次の都市機能の集積状況

圏域には学術や医療、商業といった各分野の高次都市機能が集積しており、特に医療機関については、都市部に集中しているという傾向がみられます。

<図表Ⅱ－21> 高等教育機関

総括表

区分	設置区分	入学定員総数
大学	合計	14,483 人
	国立	3,235 人
	公立	605 人
	私立	10,643 人
短期大学	私立	1,460 人

大学

学校名	学部・学科等	入学定員（人）	所在地
北海道大学	文学部	185	札幌市
	教育学部	50	
	法学部	200	
	経済学部	190	
	理学部	300	
	医学部	287	
	歯学部	53	
	薬学部	80	
	工学部	670	
	農学部	215	
	獣医学部	40	
	計	2,270	
北海道教育大学	教育学部	450	札幌市、岩見沢市
小樽商科大学	商学部	515	小樽市
札幌医科大学	医学部	110	札幌市
	保健医療研究科	90	
	計	200	
公立千歳科学技術大学	理工学部	240	千歳市
札幌市立大学	デザイン学部	85	札幌市
	看護学部	80	
	計	165	
札幌大学	地域共創学群	800	札幌市
札幌学院大学	人文学部	205	江別市
	心理学部	120	
	法学部	150	
	経済経営学部	300	
	計	775	
藤女子大学	文学部	240	札幌市
	人間生活学部	320	石狩市
	計	560	

学校名	学部・学科等	入学定員（人）	所在地
北星学園大学	文学部	203	札幌市
	経済学部	364	
	社会福祉学部	234	
	計	801	
北海学園大学	経済学部	420	札幌市
	経営学部	400	
	法学部	435	
	人文学部	265	
	工学部	260	
	計	1,780	
北海道科学大学	工学部	392	札幌市
	薬学部	180	
	保健医療学部	290	
	未来デザイン学部	130	
	計	992	
酪農学園大学	農食環境学群	520	江別市
	獣医学群	180	
	計	700	
北海道医療大学 (当別キャンパス) (札幌あいの里キャンパス)	薬学部	160	当別町
	歯学部	80	
	看護福祉学部	180	
	リハビリテーション学部	180	
	心理学部	75	
	医療技術学部	60	札幌市
	計	735	
北海商科大学	商学部	180	札幌市
星槎道都大学	社会福祉学部	60	北広島市
	経営学部	120	
	美術学部	80	
	計	260	
北海道情報大学	経営情報学部	120	江別市
	医療情報学部	80	
	情報メディア学部	220	
	計	420	
札幌国際大学	人文学部	160	札幌市
	スポーツ人間学部	140	
	観光学部	140	
	計	440	

学校名	学部・学科等	入学定員（人）	所在地
北翔大学	生涯スポーツ学部	220	江別市
	教育文化学部	220	
	計	440	
北海道文教大学	外国語学部	100	恵庭市
	人間科学部	450	
	計	550	
天使大学	看護栄養学部	190	札幌市
札幌大谷大学	芸術学部	120	札幌市
	社会学部	70	
	計	190	
札幌保健医療大学	保健医療学部	180	札幌市
日本医療大学	保健医療学部	420	札幌市・恵庭市
	総合福祉学部	120	
	計	540	
北海道千歳リハビリテーション大学	健康科学部	110	千歳市

短期大学

学校名	学部・学科等	入学定員（人）	所在地
光塩学園女子短期大学	食物栄養科	100	札幌市
	保育科	100	
	計	200	
札幌大谷大学短期大学部	保育科	100	札幌市
北星学園大学短期大学部	英文学科	120	札幌市
	生活創造学科	80	
	計	200	
北海道科学大学短期大学部	自動車工業科	100	札幌市
北翔大学短期大学部	ライフデザイン学科	50	江別市
	こども学科	140	
	計	190	
北海道武蔵女子短期大学	教養学科	200	札幌市
	英文学科	120	
	経済学科	80	
	計	400	
札幌大学女子短期大学部	キャリアデザイン学科	30	札幌市
	こども学科	50	
	計	80	
札幌国際大学短期大学部	総合生活キャリア学科	50	札幌市
	幼児教育保育学科	140	
	計	190	

「令和4年度北海道大学一覧」（北海道教育委員会）各大学ホームページ

＜図表Ⅱ－22＞ 主な研究機関

機関名	所在地
地方独立行政法人北海道立総合研究機構	札幌市
農業研究本部 中央農業試験場	長沼町
農業研究本部 水田農業部水田農業グループ	岩見沢市
水産研究本部 さけます・内水面水産試験場	恵庭市
産業技術研究本部 工業試験場、エネルギー・環境・地質研究所	札幌市
産業技術研究本部 食品加工研究センター	江別市
建築研究本部 建築性能試験センター	札幌市
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター、動物衛生研究部門札幌研究拠点	札幌市
国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所北海道支所	札幌市
国立研究開発法人森林研究・整備機構 林木育種センター北海道育種場	江別市
国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所札幌庁舎	札幌市
国立研究開発法人水産研究・教育機構 千歳さけます事業所	千歳市
国立研究開発法人産業技術総合研究所 北海道センター	札幌市
国立研究開発法人寒地土木研究所	札幌市
北海道立衛生研究所	札幌市
札幌市衛生研究所	札幌市

出典：各機関ホームページ

＜図表Ⅱ－23＞医療機関及び医師の数

二次医療圏	市町村名	医療施設数（施設）		医師数 （人）
		病院（注１）	一般診療所（注２）	
札幌	札幌市	231(30)	1,656	7,534
	江別市	6(1)	72	167
	千歳市	7(2)	58	128
	恵庭市	7(2)	36	119
	北広島市	5(0)	36	58
	石狩市	5(1)	26	59
	当別町	0(0)	12	23
	新篠津村	0(0)	3	2
後志	小樽市	15(4)	79	338
南空知	岩見沢市	8(3)	58	178
	南幌町	1(0)	2	6
	長沼町	1(0)	6	11
圏域計		286(43)	2,044	8,623

出典：「令和３年医療施設（動態）調査」（厚生労働省）、「令和２医師・歯科医師・薬剤師統計」（厚生労働省）

（注１）（ ）内は精神病院の数を示す。

（注２）一般診療所とは、医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所（歯科医業のみは除く。）であって、患者の入院施設を有しないもの又は患者 19 人以下の入院施設を有するものをいう。

＜図表Ⅱ－24＞二次救急医療機関（※は診療所）

総括表

市町村	医療機関数	救急告示医療機関	
		救急告示医療機関	輪番制参加医療機関
札幌市	86	66	58
小樽市	7	7	6
岩見沢市	5	5	2
江別市	5	5	0
千歳市	4	4	4
恵庭市	3	3	3
北広島市	1	1	1
石狩市	4	4	0
当別町	0	0	0
新篠津村	0	0	0
南幌町	1	1	0
長沼町	1	1	0
計	117	97	74

出典：「北海道医療計画（平成 30 年度～平成 35 年度）」（北海道）

救急告示医療機関：救急隊が搬送する傷病者の収容及び治療を行う医療機関

輪番制参加医療機関：休日・夜間に入院を要する重症救急患者に対応する医療機関

市町村別一覧

市町村名	施設名
札幌市	国家公務員共済組合連合会斗南病院、医療法人札幌円山整形外科病院、市立札幌病院、札幌循環器病院、時計台記念病院、J R 札幌病院、J A 北海道厚生連札幌厚生病院、社会医療法人医仁会中村記念病院、N T T 東日本札幌病院、札幌医科大学附属病院、医療法人社団いとう整形外科病院、医療法人菊郷会愛育病院、医療法人社団中野整形外科医院（※）、札幌中央病院、医療法人社団土田病院、医療法人社団札幌外科記念病院、社会医療法人北海道循環器病院、札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル、北海道大学病院、松田整形外科記念病院、医療法人社団北匠会札幌北脳神経外科（※）、医療法人麻生整形外科病院、医療法人新川新道整形外科病院、社会医療法人延山会北成病院、天使病院、医療法人育愛会札幌東豊病院、コスモ脳神経外科（※）、医療法人札幌麻生脳神経外科病院、医療法人社団石垣整形外科医院（※）、社会医療法人社団愛心館愛心メモリアル病院、北光記念病院、医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院、勤医協中央病院、北海道泌尿器科記念病院、社会医療法人禎心会札幌禎心会病院、札幌心臓血管クリニック、医療法人彰和会北海道消化器科病院、社会医療法人社団三草会クラーク病院、医療法人社団三樹会泌尿器科病院、社会医療法人北榆会札幌北榆病院、札幌白石記念病院、社会医療法人恵佑会札幌病院、独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター、社会医療法人朋仁会整形外科北新病院、医療法人菊郷会札幌センチュリー病院、医療法人東札幌病院、勇氣会医療法人北央病院、医療法人新さっぽろ脳神経外科病院、医療法人徳洲会札幌徳洲会病院、新札幌循環器病院、独立行政法人地域医療機能推進機構札幌北辰病院、医療法人豊和会新札幌豊和会病院、社会医療法人仁陽会西岡第一病院、社会医療法人柏葉会柏葉脳神経外科病院、独立行政法人地域医療機能推進機構北海道病院、K K R 札幌医療センター、医療法人北海道整形外科記念病院、西岡病院、華岡青洲記念病院、社会医療法人蘭友会札幌里塚病院、社会医療法人札幌清田病院、社会医療法人札幌清田整形外科病院、医療法人社団エス・エス・ジェイ札幌整形循環器病院、医療法人美脳札幌美しが丘脳神経外科病院、仁榆会札幌病院、医療法人大地札幌真駒内病院、医療法人三和会札幌南整形外科病院、医療法人為久会札幌共立五輪橋病院、医療法人五輪橋整形外科病院、社会医療法人医仁会中村記念南病院、自衛隊札幌病院、医療法人西さっぽろ病院、独立行政法人国立病院機構北海道医療センター、社会医療法人孝仁会札幌孝仁会記念病院、医療法人社団信和会石川泌尿器科・腎臓内科（※）、医療法人社団康仁会中田泌尿器科病院、医療法人社団明日佳札幌宮の沢脳神経外科病院、社会医療法人孝仁会札幌第一病院、医療法人社団静和会静和記念病院、医療法人社団明生会イムス札幌消化器中央総合病院、医療法人社団研仁会北海道脳神経外科記念病院、社会医療法人北腎会坂泌尿器科病院、医療法人秀友会札幌秀友会病院、手稲溪仁会病院、医療法人社団伸孝会ていね泌尿器科（※）
小樽市	社会福祉法人北海道社会事業協会小樽病院、小樽市立病院、医療法人社団北匠会小樽中央病院、小樽掖済会病院、医療法人たんぽぽ会島田脳神経外科（※）、社会福祉法人恩賜財団北海道支部北海道済生会小樽病院、医療法人ひまわり会札幌病院
岩見沢市	独立行政法人労働者健康安全機構北海道中央労災病院、医療法人萌佑会岩見沢脳神経外科（※）、岩見沢市立総合病院、医療法人北翔会岩見沢北翔会病院、岩見沢市立栗沢病院
江別市	医療法人社団江別やまもと整形外科（※）、江別市立病院、医療法人社団藤花会江別谷藤病院、医療法人英生会野幌病院、医療法人溪和会江別病院、
千歳市	医療法人社団豊友会千歳豊友会病院、医療法人同仁会千歳第一病院、医療法人社団いずみ会北星病院、市立千歳市民病院
恵庭市	社会医療法人北農会恵み野病院、恵庭第一病院、医療法人社団我汝会えにわ病院
北広島市	社会医療法人即仁会北広島病院
石狩市	医療法人社団佐々木整形外科医院（※）、石狩病院、石狩幸悝会病院、医療法人はまなすはまなす医院（※）

南幌町	国民健康保険町立南幌病院
長沼町	町立長沼病院

出典：「北海道医療計画（平成 30 年度～平成 35 年度）」（北海道）

<図表Ⅱ－25> 三次救急医療機関

市町村名	施設名
札幌市	市立札幌病院、札幌医科大学付属病院、手稲溪仁会病院、独立行政法人国立病院機構北海道医療センター、北海道大学病院

出典：「北海道医療計画（平成 30 年度～平成 35 年度）」（北海道）、「さっぽろ医療計画 2018（2018 年度～2023 年度）」（札幌市）

<図表Ⅱ－26> 災害拠点病院

区分	市町村名	施設名
基幹災害拠点病院	札幌市	札幌医科大学附属病院
地域災害拠点病院	札幌市	市立札幌病院、北海道大学病院、独立行政法人国立病院機構北海道医療センター、手稲溪仁会病院
	小樽市	小樽市立病院
	岩見沢市	岩見沢市立総合病院

出典：「北海道医療計画（平成 30 年度～平成 35 年度）」（北海道）

<図表Ⅱ－27> 周産期母子医療センター

区分	市町村	施設名
総合周産期母子医療センター	札幌市	市立札幌病院
特定機能周産期母子医療センター	札幌市	北海道立子ども総合医療・療育センター
地域周産期母子医療センター	札幌市	天使病院、独立行政法人地域医療機能推進機構北海道病院、N T T 東日本札幌病院、手稲溪仁会病院、北海道大学病院、札幌医科大学附属病院
	小樽市	北海道社会事業協会小樽病院
	岩見沢市	岩見沢市立総合病院

出典：「北海道医療計画（平成 30 年度～平成 35 年度）」（北海道）

<図表Ⅱ－28> がん診療連携拠点病院

区分	市町村	施設名
都道府県がん診療連携拠点病院	札幌市	独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター
地域がん診療連携拠点病院	札幌市	札幌医科大学附属病院、市立札幌病院、J A 北海道厚生連札幌厚生病院、北海道大学病院、K K R 札幌医療センター、社会医療法人恵佑会札幌病院、医療法人溪仁会手稲溪仁会病院
地域がん診療病院	小樽市	小樽市立病院
	岩見沢市	独立行政法人労働者健康安全機構北海道中央労災病院

出典：「北海道医療計画（平成 30 年度～平成 35 年度）」（北海道）

＜図表Ⅱ－29＞小児救急医療支援事業参加病院

市町村	施設名
札幌市	市立札幌病院、JA 北海道厚生連札幌厚生病院、N T T 東日本札幌病院、天使病院、社会医療法人北榆会札幌北榆病院、独立行政法人地域医療機能推進機構札幌北辰病院、医療法人徳州会札幌徳洲会病院、独立行政法人地域医療機能推進機構北海道病院、K K R 札幌医療センター、独立行政法人国立病院機構北海道医療センター、手稲溪仁会病院
小樽市	社会福祉法人北海道社会事業協会小樽病院
岩見沢市	岩見沢市立総合病院

出典：「北海道医療計画（平成 30 年度～平成 35 年度）」（北海道）

＜図表Ⅱ－30＞難病診療連携拠点病院

市町村	施設名
札幌市	国立病院機構北海道医療センター

出典：公益財団法人難病医学研究財団難病情報センターホームページ

<図表Ⅱ－31> 主な文化施設

市町村名	施設名
札幌市	札幌コンサートホール Kitara、札幌市教育文化会館、札幌市民ギャラリー、札幌文化芸術劇場（hitaru）、札幌文化芸術交流センター（SCARTS）、札幌市資料館、カナモトホール（札幌市民ホール）、札幌市時計台、札幌市豊平館、札幌市旧永山武四郎邸及び札幌市旧三菱鉱業寮、本郷新記念札幌彫刻美術館、あけぼのアート&コミュニティセンター、さっぽろ天神山アートスタジオ、ターミナルプラザことにパトス、札幌芸術の森、関口雄揮記念美術館、北海道立三岸好太郎美術館、北海道立近代美術館、あしりべつ郷土館、エドウィン・ダン記念館、旧黒岩家住宅（旧簾舞通行屋）、新琴似屯田兵中隊本部、札幌市交通資料館、札幌市水道記念館、札幌市博物館活動センター、札幌市埋蔵文化財センター、サッポロビール博物館、札幌村郷土記念館、定山溪郷土博物館、つきさっぽ郷土資料館、手稲記念館、屯田郷土資料館、平岸郷土史料館、福住開拓記念館、琴似屯田歴史館資料室、篠路烈々布郷土資料館、白石郷土館、北海道博物館、北海道大学総合博物館、北海道立文学館、雪印メグミルク酪農と乳の歴史館
小樽市	小樽市総合博物館（本館、運河館）、市立小樽文学館、市立小樽美術館、北一ヴェネツィア美術館、小樽芸術村、森ヒロコ・スタシス記念バザールヴィタ美術館、小樽港湾事務所おたるみなと資料館、旧日本郵船株式会社小樽支店、手宮洞窟保存館、小樽市鯉御殿、日本銀行旧小樽支店金融資料館、小樽貴賓館（旧青山別邸）、忍路環状列石、地鎮山環状列石
岩見沢市	絵画ホール・松島正幸記念館、郷土科学館
江別市	江別市セラミックアートセンター、江別市旧町村農場、江別市ガラス工芸館、江別市郷土資料館、江別市屯田資料館、野幌屯田兵屋、北海道立埋蔵文化財センター
千歳市	千歳市埋蔵文化財センター、千歳さけますの森さけます情報館
恵庭市	郷土資料館、史跡カリンバ遺跡
北広島市	北広島市芸術文化ホール、北広島市エコミュージアムセンター知新の駅
石狩市	夕日の美術館、川の博物館、いしかり砂丘の風資料館、尚古社、はまます郷土資料館
当別町	伊達記念館・伊達邸別館
新篠津村	新篠津村郷土資料室、しんしのつ天文台
南幌町	郷土資料室
長沼町	文学碑、東庭園、ハイジ牧場、ながぬま温泉、マオイオートランド

出典：各市町村ホームページ等

＜図表Ⅱ－32＞ 公立図書館（室）等

市町村名	図書館数	蔵書総数	来館者数	個人貸出資料総数
札幌市	12	2,648,955	1,608,292	4,269,473
小樽市	1	321,094	111,255	233,950
岩見沢市	3	324,641	113,431	314,688
江別市	3	448,431	-	514,034
千歳市	1	277,567	-	439,323
恵庭市	3	276,044	212,488	521,323
北広島市	5	336,916	119,065	355,565
石狩市	4	316,759	130,399	434,668
当別町	2	43,983	7,386	27,067
新篠津村	1	8,538	-	1,486
南幌町	1	56,857	9,202	37,296
長沼町	1	118,237	17,106	42,916

出典：「北海道の図書館 統計-令和4年4月1日現在-」（北海道図書館振興協議会）

＜図表Ⅱ－33＞ 主な金融機関

区分（圏域内に本店があるもの）	機関名
地方銀行	北海道銀行
第二地方銀行	北洋銀行
信用金庫	北海道信用金庫、空知信用金庫
信用組合	ウリ信用組合、札幌中央信用組合、北央信用組合
労働金庫	北海道労働金庫
系統金融機関	北海道信用農業協同組合連合会、北海道信用漁業協同組合連合会
区分（圏域内に支店等があるもの）	機関名
中央銀行、政府関係金融機関	日本銀行、日本政策金融公庫、日本政策投資銀行、 商工組合中央金庫
都市銀行、信託銀行等	みずほ銀行、三菱ＵＦＪ銀行、三井住友銀行、りそ な銀行、三菱ＵＦＪ信託銀行、みずほ信託銀行、三 井住友信託銀行、ＳＭＢＣ信託銀行、あおぞら銀 行、ＳＢＩ新生銀行、ゆうちょ銀行

出典：財務省、金融庁ホームページ等

＜図表Ⅱ－34＞ 主なスポーツ施設

市町村名	施設名
札幌市	北ガスアリーナ札幌 46（中央体育館）、中島体育センター、北区体育館、東区体育館、美香保体育館（冬季はスケート場）、白石区体育館、厚別区体育館、豊平区体育館、清田区体育館・温水プール、南区体育館、西区体育館・温水プール、宮の沢屋内競技場、手稲区体育館、東温水プール、白石温水プール、厚別温水プール、豊平公園温水プール、平岸プール、手稲曙温水プール、北区公的温水プール（札幌サンプラザ）、札幌ドーム、麻生球場（麻生庭球場を含む。）、美香保公園野球場、東雁来公園サッカー場、白旗山競技場、平岸庭球場、中島公園庭球場、大倉山ジャンプ競技場、宮の森ジャンプ競技場、荒井山シャンツェ、手稲山シャンツェ、月寒体育館、星置スケート場、どうぎんカーリングスタジアム（札幌市カーリング場）、円山総合運動場（円山球場、円山庭球場、円山競技場、円山スケート場）、月寒屋外競技場（ラグビー場、弓道場、庭球場）、厚別公園競技場（厚別公園補助競技場を含む。）、つどーむ（スポーツ交流施設（庭球場、パークゴルフ場を含む。）、藤野野外スポーツ交流施設（リュージュ競技場を含む。）、北海きたえーる（総合体育センター）、真駒内セキスイハイムアイスアリーナ・スタジアム
小樽市	小樽市望洋サッカー・ラグビー場、小樽市総合体育館、小樽市銭函パークゴルフ場、小樽公園運動場、小樽桜ヶ丘球場、小樽手宮公園競技場、小樽平磯公園運動場、小樽からまつ公園運動場、小樽からまつ公園庭球場、小樽公園庭球場、小樽入船公園庭球場、小樽朝里川公園庭球場、小樽市朝里ダム湖畔園地運動場、小樽公園弓道場、小樽市潮見台シャンツェ、小樽市祝津ヨットハウス、小樽市勝納漕艇研修センター、小樽市勝納艇庫
岩見沢市	総合体育館、スポーツセンター、北村トレーニングセンター、北村多目的体育館「土里夢」、岩見沢市トレーニングセンター、栗沢 B & G 海洋センター、岩見沢市野球場、みずほ公園野球場、あさぎり公園野球場、北村野球場、栗沢球場、みずほ公園サッカー場、岡山スポーツフィールドサッカー場、岩見沢市温水プール、北村プール、栗沢 B & G 海洋センタープール、いわみざわ公園パークゴルフ場「ローズパーク」、東山公園テニスコート、陸上競技場
江別市	市民体育館、東野幌体育館、大麻体育館、青年センター、野幌総合運動公園、あけぼのパークゴルフ場、森林キャンプ場、飛鳥山公園（野球場など）、石狩川河川敷緑地（ソフトボール場など）、野幌末広町公園少年野球場、大麻東公園（少年野球場など）、大麻西公園（野球場など）、大麻中央公園野球場、大麻新町公園テニスコート、都市と農村の交流センター「えみくる」（体育館など）
千歳市	スポーツセンター（ダイナックスアリーナ）、温水プール、総合武道館、ふれあいセンター、青葉陸上競技場、青空スケートリンク、野球場 5 か所、ソフトボール場 3 か所、サッカー場 3 か所、庭球場 7 か所、ラグビー場 1 か所、市民スキー場
恵庭市	総合体育館、島松体育館、福住屋内運動広場、市民スキー場、市民スケート場、恵庭中央パークゴルフ場、かしわ公園野球場、恵庭公園陸上グラウンド、恵み野中央公園野球場、中島公園テニスコート、恵庭ふるさと公園テニスコート、めぐみの森公園テニスコート、あやめ緑地公園テニスコート、恵庭水泳プール、島松水泳プール、和光水泳プール、若草水泳プール、恵み野旭水泳プール
北広島市	ゴロッケー場、スキー場、西部プール、東部住民プール、大曲住民プール、西の里住民プール、緑葉公園プール（休止中）、白樺プール、総合体育館、輪厚児童体育館、大曲ファミリー体育館、西の里ファミリー体育館、緑葉公園（野球場など）、きたひろサンパーク（パークゴルフ、テニス）、ゴルフ場、エスコンフィールド HOKKAIDO
石狩市	はまなす国体記念石狩市スポーツ広場、石狩市多目的スポーツ施設（サン・ビレッジいしかり）、石狩市 B & G 海洋センター、浜益スポーツセンター、石狩市民プール、緑苑台パークゴルフ場、シーサイドみなくろパークゴルフ場、石狩河口パークゴルフ場、浜益温泉公園パークゴルフ場
当別町	当別町総合体育館、石狩平原スキー場、若葉球場、阿蘇公園少年野球場、相撲場、栄公園テニスコート、白樺公園テニスコート、フラワーパークゴルフ場、あいあい公園パークゴルフ場、あいあい公園少年野球場、遊遊公園テニスコート、とうべつ学園水泳プール、遊遊公園多目的芝生広場
新篠津村	ふれあい公園パークゴルフ場、新篠津村 B & G 体育館、新篠津村運動公園（サッカー場、野球場）、のびのびプール
南幌町	スポーツセンター、町民プール、リバーサイドゴルフ場、中央公園パークゴルフ

	場、南幌リバーサイド公園
長沼町	長沼町スポーツセンター、舞鶴スポーツ公園、長沼町運動広場、長沼町武道館、室内ゲートボール場、北長沼スキー場、北長沼水郷公園パークゴルフ場、ながめまコミュニティ公園パークゴルフ場、中央長沼水泳プール、北長沼水泳プール、南長沼水泳プール、舞鶴水泳プール

出典：各市町村ホームページ等

<図表Ⅱ－35> 主な商業施設

種別	施設名	所在地
百貨店	丸井今井札幌本店、札幌三越、大丸札幌店、東急百貨店札幌店、丸刈池内	札幌市
主要ショッピングセンター	さっぽろ地下街オーロラタウン・ポールタウン、札幌PARCO、サッポロファクトリー、ピボオ、イオン札幌桑園ショッピングセンター、札幌ステラボライズ・大丸札幌店、nORBESA(ノルベサ)、maruyama class、イオン札幌麻生店、パセオ、あいの里ショッピングセンター i-MALL、イトーヨーカドー屯田店、イオン札幌栄町店、イオン札幌元町ショッピングセンター、イオンモール札幌苗穂、アリオ札幌、鉄東ショッピングセンター、イオン東札幌店、コープさっぽろ LUCY 店、ラゾラ札幌、イトーヨーカドー福住店、イオン札幌西岡店、コープさっぽろ Socia 店（コープさっぽろソシア店）、イオン札幌藻岩店、イオン札幌琴似店、西住西町店、イトーヨーカドー琴似店、イオンモール札幌発寒、新さっぽろアーケシティ サンピアザ、新さっぽろアーケシティ デュオ、西友厚別店、CAPO 大谷地（キャポ大谷地）、西友手稲店、イオンスーパーセンター手稲山口店、イオンモール札幌平岡	札幌市
	長崎屋小樽店・ドン・キホーテ小樽店、ウイングベイ小樽	小樽市
	であえーる岩見沢（ポルタビル）、イオン岩見沢店、岩見沢大和タウンプラザ	岩見沢市
	イオン江別店	江別市
	イオン千歳店、千歳アウトレットモール・レラ、ちとせモール	千歳市
	フレスポ恵み野	恵庭市
	コープさっぽろエルフィン店、インターヴィレッジ大曲、三井アウトレットパーク 札幌北広島	北広島市
	イオン石狩緑苑台ショッピングセンター（イオンスーパーセンター石狩緑苑台店）	石狩市

出典：会員百貨店リスト（日本百貨店協会）、都道府県・市区町村別 SC 一覧（2020 年末時点）（一般社団法人日本ショッピングセンター協会）

<図表Ⅱ－36> 行政機関

市町村名	府省等名	行政機関名
札幌市	内閣官房	アイヌ総合政策室北海道分室
	人事院	北海道事務局
	内閣府	地方創生推進事務局北海道地方連絡室、公正取引委員会北海道事務所、警察庁北海道警察情報通信部
	総務省	北海道管区行政評価局、北海道総合通信局
	法務省	札幌法務局、南出張所、北出張所、西出張所、白石出張所、札幌矯正管区、北海道更生保護委員会、札幌保護観察所、法務総合研究所札幌支所、矯正研修所札幌支所、札幌刑務所、札幌刑務支所、札幌拘置支所、札幌少年鑑別所、札幌高等検察庁、札幌地方検察庁、札幌区検察庁、札幌出入国在留管理局、北海道公安調査局
	財務省	北海道財務局、函館税関札幌税関支署、財務総合政策研究所北海道研修支所、札幌国税局、札幌中税務署、札幌北税務署、札幌南税務署、札幌西税務署、札幌東税務署、国税不服審判所札幌国税不服審判所、税務大学校札幌研修所、国税庁長官官房総務課監督評価官室札幌派遣監督評価官室、長官官房国税庁監察官札幌派遣国税庁監察官
	厚生労働省	北海道厚生局、北海道労働局、札幌中央労働基準監督署、札幌東労働基準監督署、札幌公共職業安定所、マザーズハローワーク札幌、札幌わかものハローワーク、ハローワークプラザ札幌、札幌新卒応援ハローワーク、札幌東公共職業安定所、札幌北公共職業安定所、ハローワークプラザ北 24
	農林水産省	北海道農政事務所、横浜植物防疫所札幌支所、北海道森林管理局、石狩地域森林ふれあい推進センター、石狩森林管理署、北海道漁業調整事務所
	経済産業省	北海道経済産業局、北海道産業保安監督部
	国土交通省	北海道開発局、札幌開発建設部、札幌河川事務所、豊平川ダム統合管理事務所、札幌道路事務所、国営滝野すずらん丘陵公園事務所、北海道運輸局、札幌運輸支局、東京航空局丘珠空港事務所、札幌航空交通管制部、北海道地方測量部、札幌管区気象台
	環境省	北海道地方環境事務所
	防衛省	北海道防衛局、北部方面隊北部方面総監部、第 11 旅団司令部、第 18 普通科連隊、第 11 特科隊、第 11 高射特科隊、第 11 施設隊、第 11 後方支援隊、第 11 通信隊、北部方面混成団第 52 普通科連隊、第 120 教育大隊、冬季戦技教育隊、北海道補給処苗穂支処、自衛隊札幌病院、自衛隊札幌地方協力本部、北部地区隊、南部地区隊、大通募集案内所、月寒募集案内所、白石募集案内所、札幌地域援護センター、札幌常駐組、真駒内常駐組、丘珠常駐組
小樽市	法務省	札幌法務局小樽支局、札幌刑務所小樽拘置支所、札幌地方検察庁小樽支部、岩内支部、小樽区検察庁、岩内区検察庁
	財務省	北海道財務局小樽出張所、函館税関小樽税関支署、札幌国税局小樽税務署
	厚生労働省	小樽労働基準監督署、小樽公共職業安定所、小樽検疫所
	農林水産省	横浜植物防疫所札幌支所小樽出張所、動物検疫所北海道・東北支所小樽港事務所
	国土交通省	北海道開発局小樽開発建設部、小樽道路事務所、小樽港湾事務所、第一管区海上保安本部、小樽海上保安部
	防衛省	自衛隊札幌地方協力本部小樽地域事務所

市町村名	府省等名	行政機関名
岩見沢市	法務省	札幌法務局岩見沢支局、札幌地方検察庁岩見沢支部、岩見沢区検察庁、夕張区検察庁
	財務省	札幌国税局岩見沢税務署
	厚生労働省	北海道労働局岩見沢労働基準監督署、岩見沢公共職業安定所
	農林水産省	北海道森林管理局空知森林管理署
	国土交通省	北海道開発局札幌開発建設部岩見沢河川事務所、岩見沢道路事務所、岩見沢農業事務所
	防衛省	第3施設団第12施設群、自衛隊札幌地方協力本部岩見沢地域事務所、札幌地域援護センター岩見沢分室
江別市	法務省	札幌法務局江別出張所
	厚生労働省	札幌東公共職業安定所江別出張所
	国土交通省	北海道開発局札幌開発建設部江別河川事務所、札幌北農業事務所
	防衛省	自衛隊札幌地方協力本部江別地域事務所
千歳市	法務省	札幌出入国在留管理局千歳苫小牧出張所、北海少年院、紫明女子学院
	財務省	函館税関千歳税関支署
	厚生労働省	千歳公共職業安定所、小樽検疫所千歳空港検疫所支所
	農林水産省	横浜植物防疫所札幌支所新千歳空港出張所、動物検疫所北海道・東北支所
	国土交通省	北海道開発局札幌開発建設部千歳川河川事務所、千歳道路事務所、千歳空港建設事業所、東京航空局新千歳空港事務所、札幌管区気象台新千歳航空測候所、第一管区海上保安本部千歳航空基地
	環境省	北海道地方環境事務所支笏洞爺国立公園管理事務所
	防衛省	北海道防衛局千歳防衛事務所、千歳試験場、北部方面隊第7師団司令部、第11普通科連隊、第71戦車連隊、第7特科連隊、第7施設大隊、第7後方支援連隊、第7通信大隊、第1特科団本部、第1対艦ミサイル連隊、第1特科群、第1高射特科団本部、第1高射特科群、北部方面混成団本部、第1陸曹教育隊、航空総隊北部航空方面隊、第3高射群、航空救難団千歳救援隊、航空支援集団特別航空輸送隊、千歳管制隊、千歳気象隊、自衛隊札幌地方協力本部千歳地域事務所、千歳・恵庭地域援護センター、東千歳常駐組、北千歳常駐組
恵庭市	法務省	札幌法務局恵庭出張所
	防衛省	第7師団第72戦車連隊、第73戦車連隊、第11旅団第11戦車隊、第3施設団本部、北海道補給処、自衛隊札幌地方協力本部恵庭地域事務所、千歳・恵庭地域援護センター南恵庭常駐組、北恵庭常駐組、島松常駐組
北広島市	国土交通省	北海道開発局札幌開発建設部札幌南農業事務所
石狩市	財務省	函館税関小樽税関支署石狩出張所
当別町	国土交通省	北海道開発局札幌開発建設部札幌道路事務所当別分庁舎
	防衛省	特別航空輸送隊当別分屯基地
長沼町	防衛省	特別航空輸送隊長沼分屯基地

出典：「行政機関所在地一覧（市町村別）（令和3年7月1日現在）」（総務省）、各省庁ホームページ

<図表Ⅱ－37> 主な工業団地

市町村名	団地数	工業団地名
札幌市	17 団地	札幌テクノパーク、新川地区工業団地ほか
小樽市	4 団地	石狩湾新港工業団地、銭函工業団地ほか
岩見沢市	7 団地	岡山工業団地、南空知流通工業団地ほか
江別市	3 団地	江別 R T N パーク、江別第 1 工業団地ほか
千歳市	11 団地	千歳臨空工業団地、千歳美々ワールドほか
恵庭市	10 団地	恵庭テクノパーク、戸磯・恵南工業団地ほか
北広島市	6 団地	北広島輪厚工業団地、大曲第 3 工業団地ほか
石狩市	2 団地	石狩湾新港工業団地、石狩工業団地
当別町	-	-
新篠津村	-	-
南幌町	2 団地	南幌工業団地、晩翠工業団地
長沼町	1 団地	中央長沼工業団地
圏域計（注 1）	62 団地	

出典：「工業団地台帳（令和 4 年 9 月現在）」（北海道）

（注 1）石狩湾新港工業団地は小樽市及び石狩市に所在しているため、団地数の合計とは一致しない。

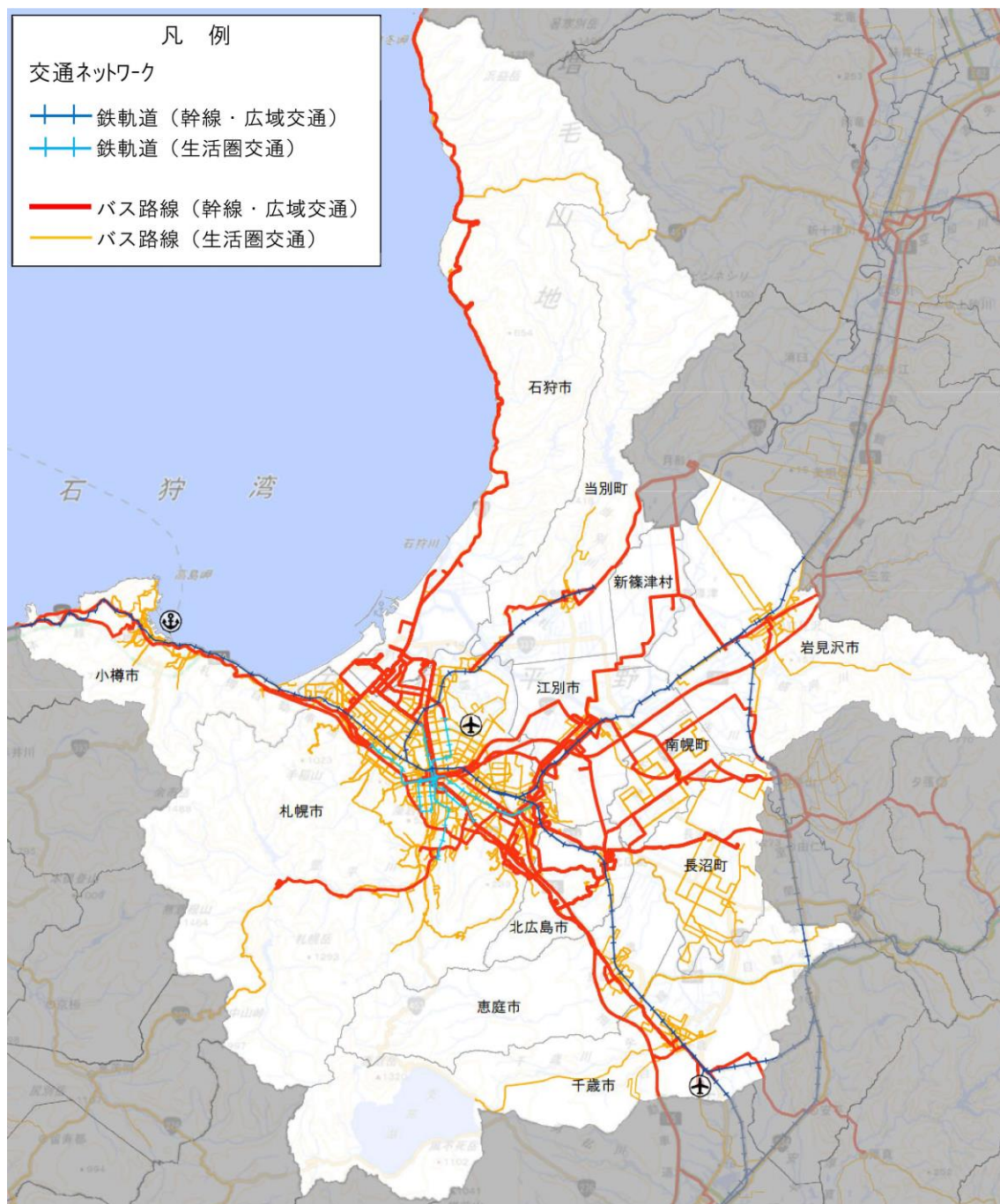
<図表Ⅱ－38> 主な交通インフラ¹

区分	名称
鉄軌道系公共交通機関	・ J R 北海道（函館本線、室蘭本線、千歳線、石勝線、札沼線（学園都市線）） ・ 札幌市営地下鉄（南北線、東西線、東豊線） ・ 札幌市電（路面電車）
空港	・ 新千歳空港 ・ 丘珠空港
港湾	・ 小樽港 ・ 石狩湾新港
高速道路	・ 札幌自動車道 ・ 道央自動車道 ・ 道東自動車道

出典：各社ホームページ等

¹ 【インフラ】 インフラストラクチャーの略。公共施設のうち、都市活動を支える道路、橋りょう、公園、上下水道などの施設。

＜図表Ⅱ－39＞ 交通ネットワーク図



出展：さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通計画（さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通活性化協議会）

＜図表Ⅱ－40＞ 主な公共交通機関の利用状況

区分	名称	所在地	1日当たり 平均利用者数(注1)
鉄軌道系公共交通機関	J R 札幌駅	札幌市	66,153 人
	地下鉄さっぽろ駅	札幌市	62,447 人
	地下鉄大通駅	札幌市	60,468 人
	地下鉄すすきの駅	札幌市	8,779 人
	J R 新札幌駅	札幌市	11,021 人
	J R 小樽駅	小樽市	5,240 人
	J R 岩見沢駅	岩見沢市	3,303 人
	J R 大麻駅	江別市	4,640 人
	J R 野幌駅	江別市	4,680 人
	J R 千歳駅	千歳市	6,905 人
	J R 新千歳空港駅	千歳市	8,526 人
	J R 恵庭駅	恵庭市	6,159 人
	J R 北広島駅	北広島市	5,958 人
空港	丘珠空港	札幌市	537 人
	新千歳空港（注2）	千歳市	25,286 人
港湾（注3）	小樽港	小樽市	347 人

出典：J R 北海道資料（令和3年度）、札幌市交通局ホームページ、「令和3年空港別順位表（暦年）」（国土交通省）、
「令和3年港湾統計」（国土交通省）

（注1）鉄軌道系公共交通機関は乗車人員数。空港及び港湾は乗降客数

（注2）国際線及び国内線の合算値

（注3）外国航路及び内国航路における船舶乗降人員の合算値

＜図表Ⅱ－41＞再生可能エネルギーの導入容量（注１）

（単位：kw）

市町村名	太陽光発電	風力発電	水力発電	バイオマス （注２）	合計 （注３）
札幌市	85,235	20	1,070	21,850	108,174
小樽市	9,663	40,600	0	1,274	51,536
岩見沢市	21,237	0	0	676	21,912
江別市	30,048	20	0	25,910	55,978
千歳市	75,107	0	0	29	75,135
恵庭市	21,674	0	4,005	480	26,159
北広島市	22,559	0	0	100	22,659
石狩市	28,820	35,383	0	52,700	116,903
当別町	5,964	0	0	1,089	7,053
新篠津村	4,413	0	0	0	4,413
南幌町	3,463	0	0	0	3,463
長沼町	9,118	0	0	0	9,118
圏域計	317,301	76,023	5,075	104,108	502,503

出典：資源エネルギー庁「固定価格買取制度情報公表用ウェブサイト（再生可能エネルギー発電施設の導入状況等(令和5年3月末時点)）」

（注１）「導入」とは、固定価格買取制度の下で買取が開始された状態をいう。なお、本表で掲げる数値は、新規認定分（固定価格買取制度開始後に新たに認定を受けた設備のもの）及び移行認定分（電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法施行規則第２条に規定する同法の施行の日において既に発電を開始していた設備又は同法附則第６条第１項に規定する特例太陽光発電設備であって、固定価格買取制度開始後に同制度に移行した設備のもの）の合算値である。

（注２）バイオマス比率を考慮したもの。

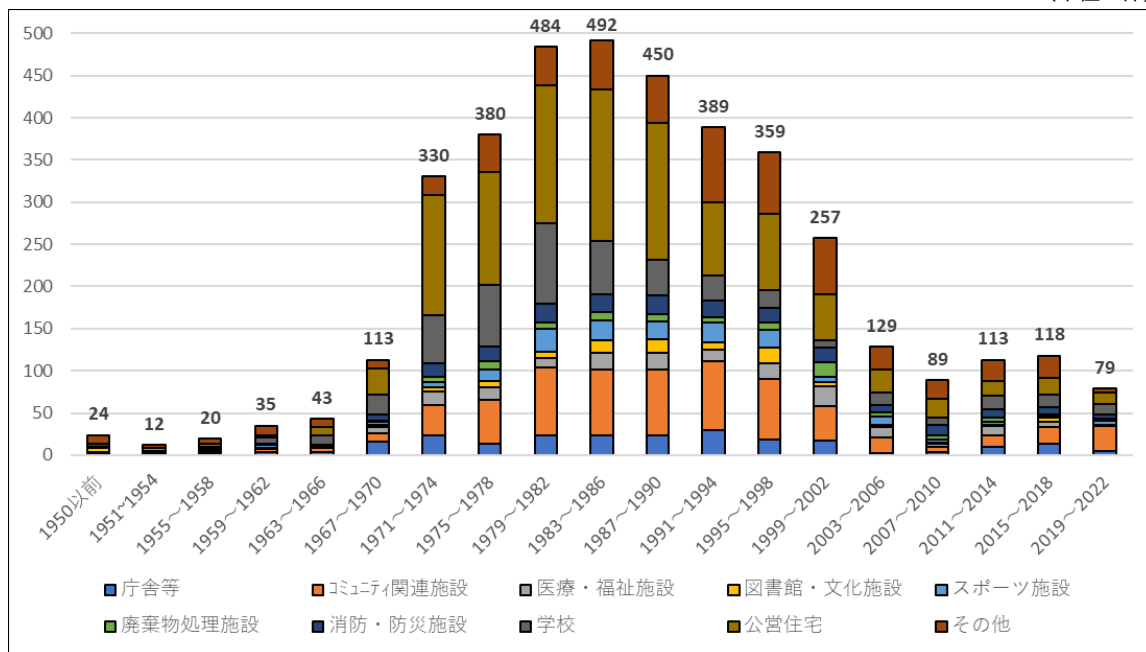
（注３）地熱発電設備は圏域計０であるため、合計には影響しない。なお、端数処理の関係上、内訳と合計は一致しないものがある。

(7) 行政施設

1970 年から 2000 年に建設された行政施設（建物）が多く、今後、施設が更新時期を迎えることから、更にコスト増が予想されます。

<図表Ⅱ－42> 行政施設（建物）の建築年度別整備状況（件数）

（単位：件）



出展：各市町村から聴取